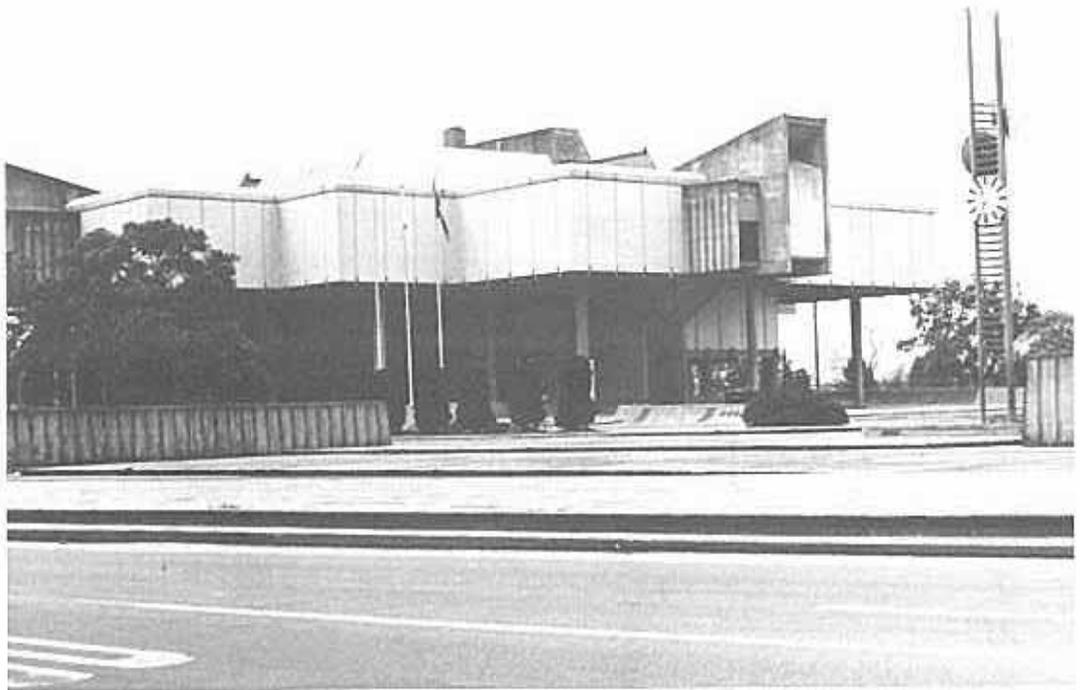


昭和55年度

# 佐賀県立博物館年報

No. **11**



佐賀県立博物館全景

# 目 次

はじめに .....	1
管理の概要 .....	2
1. 本館の沿革 .....	2
2. 博物館日誌 .....	3
3. 規模および施設 .....	4
4. 組 織 .....	4
5. 博物館協議会 .....	5
6. 昭和55年度歳出予算 .....	6
事業の概況 .....	7
1. 常設展 .....	7
2. 企画展 .....	8
3. 昭和55年度観覧者数 .....	32
4. 普及活動 .....	33
5. 発掘調査 .....	34
資料の概況 .....	35
1. 昭和55年度購入資料 .....	35
2. 昭和55年度寄贈資料 .....	36
3. 昭和55年度寄託資料 .....	44
4. 昭和55年度購入・寄贈図書 .....	46
茶室の管理と運営の概況 .....	54
1. 茶室の規模および施設 .....	54
2. 茶室の利用状況 .....	54
3. 茶道具備品 .....	54
案内図 .....	56

## は　じ　め　に

このたび、昭和55年度の当博物館の事業概要をとりまとめました。開館10周年を迎える当年度は、過去10年の歩みをかみしめながら更に新たなる発展を期して資料の整備、常設展の充実、特別企画展の開催等に力点をおき、事業の実施にあたりました。年度の後半においては県立美術館の建設が具体化しましたので、その完成後、博物館の活動との関連においてどのような対応が必要かについても研究討議を重ね、関係各方面のご支援とご協力をいただきました。常設の「佐賀県の歴史と文化展」については、特に展示の核となる資料を中心にして各部門とも、展示効果の向上と内容の充実に努めました。企画展としては東京国立文化財研究所のご協力により「黒田清輝展」を開催し、次いで開館10周年の特別企画として「九州の文化展」を開催し広く県民に紹介することができました。この二つの企画展についてはそれぞれ展示資料の写真解説図録を刊行し頒布することができました。

また外部との連携企画展では「佐賀美術協会展」「七夕書道展」「佐賀県書作家協会展」「九州新工芸展」「理科作品展」「佐賀県美術展」「佐賀県高等学校芸術祭、書道・美術部門展」「佐賀県学童美術展」「書き初め展」「日本の陶磁展」「佐賀県勤労者美術展」「九州グラフィックデザイン展」「佐賀大学教育学部特設美術科卒業制作展」等を共催し、企画にも参画して所期の実績をあげることができました。

今後とも資料の充実整備、研究調査体制の強化、展示の質の向上並びに量的な拡大をはかるとともに普及、教育活動に一段と意を用い、県民のための開かれた博物館として、事業の伸長に努めたいと考えております。また美術館の完成に合せ、郷土総合博物館の事業をどのように方向づけるかについてもさらに研究討議をすすめたいと思います。

なお、故市村清氏夫人幸恵氏の御寄贈による茶室「清恵庵」は開室8年目を迎え、利用者も定着し、見学者も含めて多くの人に喜ばれております。県内には、このように正式な茶室は数少く、極めて貴重な施設であり、御寄贈いただきましたご芳志に報いるためにも利用の向上と十分な管理運営に努めたいと思います。

以上、昭和55年度の概況を報告いたします。

昭和56年6月20日

佐賀県立博物館長 永原正隆

# 管 理 の 概 要

## 1. 本館の沿革

- 昭和23年4月1日 佐賀県中央公民館設置条例に基づき、中央公民館設置。
- 昭和26年4月1日 中央公民館設置条例が廃止され、佐賀県文化館設置条例に基づく県文化館が設置される。
- 昭和35年4月1日 佐賀県文化館設置条例を博物館登録のため改正。博物館法第10条に基づき佐賀県文化館を博物館として登録する。明治百年記念事業として県立博物館を建設することになり、佐賀大学教育学部跡を敷地に選定、昭和42年度に設計を委託し建設計画に着手し、昭和43年度から45年度にわたる継続事業として建設することになる。
- 昭和44年1月21日 佐賀県博物館建設整備委員会を設置。
- 昭和44年1月23日 佐賀県立博物館起工式。
- 昭和45年3月31日 佐賀県文化館設置条例廃止。
- 昭和45年4月1日 佐賀県立博物館設置条例公布。佐賀県立博物館協議会条例公布。  
佐賀県教育庁博物館開設準備事務局設置。
- 昭和45年7月1日 佐賀県立博物館竣工。佐賀県立博物館設置条例施行。  
博物館開設準備事務局廃止。博物館職員の発令、館長以下18名。  
佐賀県立博物館協議会条例施行。
- 昭和45年7月16日 佐賀県立博物館協議会委員を任命。
- 昭和45年10月14日 佐賀県立博物館開館記念式挙行。
- 昭和47年3月4日 鉄器減圧樹脂含浸装置を研究室に設置。
- 昭和47年12月20日 城内公園の一部（西側駐車場、東側噴水）が佐賀土木事務所から博物館に管理委任される。
- 昭和48年10月10日 茶室「清恵庵」を市村清氏のご遺志により市村幸恵夫人から寄贈を受ける。茶室落成式。
- 昭和50年9月20日 古賀忠雄氏作「呷の男」（ブロンズ）前庭に据付完成。
- 昭和51年9月18日 皇太子殿下、同妃殿下「柿右衛門名品展」ご観覧のためご来館。
- 昭和51年10月22日 天皇陛下、皇后陛下「若楠国体芸術展」ご観覧のためご来館。
- 昭和52年12月12日 佐賀藩鑄造鉄製「カノン砲」（復元）玄関前据付完了。
- 昭和53年5月4日 常陸宮殿下、同妃殿下常設展「佐賀県の歴史と文化展」ご観覧。
- 昭和53年11月5日 茶室「清恵庵」開室5周年記念合同茶会開催。出席者約1500名。
- 昭和54年7月19日 入館者総数100万名に達する。
- 昭和55年4月23日 古賀忠雄遺作（232点）遺族より寄贈。

## 2. 博物館日誌

- 4月1日 常設展「佐賀県の歴史と文化展」（5月11日迄）職員人事異動
- 4月2日 緑光会展及びスケッチ大会（6日迄）
- 4月18日 中华全国青年聯合会副主席季海峰氏他4名来館。
- 4月23日 古賀忠雄遺作到着
- 5月11日 青年の日茶会（裏千家談交會青年部）
- 5月17日 黒田清輝展（6月8日迄）
- 5月25日 黒田清輝展講演会  
講師 東京文化財研究所主任研究官 陰里鉄郎氏  
演題 「黒田清輝と近代日本洋画」
- 5月27日 九州博物館協議会理事会
- 5月28日 九州博物館協議会総会
- 5月29日 九州博物館協議会研修会
- 6月5日 九州地区文化振興会議
- 6月15日 常設展「佐賀県の歴史と文化展」（9月25日迄）
- 6月19日 佐賀美術協会展（29日迄）
- 7月23日 独立CS展（27日迄）
- 7月30日 博物館実習開講式（8月9日迄）
- 8月1日 七夕書道展（5日迄）
- 8月7日 書作家協会展（10日迄）
- 8月13日 二科会佐賀支部展（17日迄）
- 8月21日 九州新工芸展（31日迄）
- 9月13日 理科作品展佐賀市支部展（17日迄）
- 9月19日 理科作品展佐賀県本展（25日迄）
- 10月4日 九州の文化展（11月3日迄）
- 10月12日 九州の文化展講演会  
講師 長崎市立博物館長 越中哲也氏  
演題 美術工芸に見る門戸九州の文化ー長崎を中心にしてー
- 11月15日 佐賀県美術展（24日迄）  
移動博物館（肥前町、17日迄）
- 11月28日 佐賀県高等学校芸術祭書道・美術部門展（12月4日迄）
- 11月29日 移動博物館（東脊振村、30日迄）
- 12月11日 佐賀県学童美術展（16日迄）
- 1月6日 日本の陶磁展（2月1日迄）
- 1月17日 書初展（21日迄）
- 1月25日 日本陶磁展講演会  
講師 佐賀女子短期大学教授 永竹威氏  
演題 日本茶陶の流れー利休・織部・遠州（モースコレクションを中心にして）
- 1月31日 佐賀県勤労者美術展（2月5日迄）
- 2月10日 九州グラフィックデザイン展（15日迄）
- 2月21日 佐賀大学卒業制作展（25日迄）

### 3. 規模および施設

#### 規 模

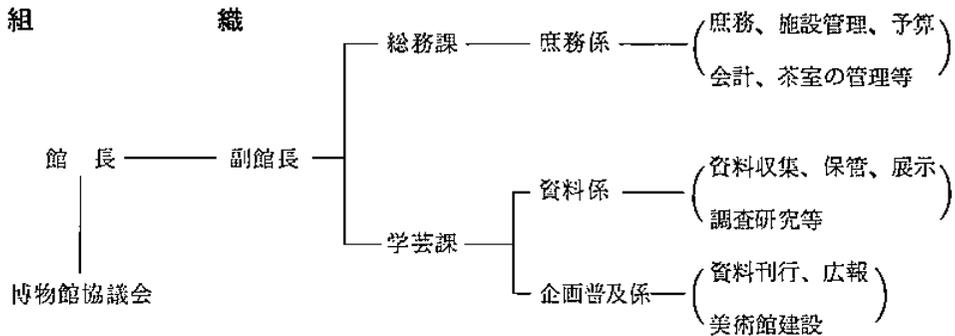
(1)本館	構造	鉄筋コンクリート造	3階建
	規模	敷地面積	30,962.0 m <sup>2</sup>
		建築面積	2,149.1 m <sup>2</sup>
		延床面積	4,630.8 m <sup>2</sup>
(2)茶室 (清惠庵)	構造	木造平屋建	
	規模	床面積	57.35 m <sup>2</sup>

#### 施設概要

##### ロビー

(案内所、常設展受付)	349.5 m <sup>2</sup>	館長室、応接室	60.0 m <sup>2</sup>
1号展示室	193.6 m <sup>2</sup>	事務室	80.0 m <sup>2</sup>
2号展示室	352.0 m <sup>2</sup>	資料調査室	64.0 m <sup>2</sup>
3号展示室	484.0 m <sup>2</sup>	撮影暗室	24.0 m <sup>2</sup>
大展示室	523.5 m <sup>2</sup>	車庫	56.0 m <sup>2</sup>
中展示室	136.0 m <sup>2</sup>	荷解場	86.0 m <sup>2</sup>
収蔵庫並整理室	392.5 m <sup>2</sup>	電気室	48.0 m <sup>2</sup>
研究室(ガス・水道付)	66.0 m <sup>2</sup>	ボイラー室(制御室を含む)	181.0 m <sup>2</sup>
		その他	1,534.7 m <sup>2</sup>

### 4. 組 織



#### 職員名簿 (56.3.31現在)

館長	永原正隆
副館長	武富雅道
総務課長	酒見四郎
庶務係長 (事務取扱)	酒見四郎
主事	江副幸子
"	山中田村美沙
"	古川宣明
技師(兼務)	古川宣明 (本務県体育館)
技術員(汽)	亀月勝次
事務員(守兼運)	坂井卓次
"	小石武彦

技術員(遊兼用)	戸川内匠
学芸課長	手塚静雄
資料係長	尾形善郎
学芸員	森藤醇一
"	口治健
学芸員補	宇志惺
企画普及係長	志佐惺
学芸員補	松本誠
主事	森永四
非常勤嘱託	浜野

## 5. 佐賀県立博物館協議会

委員名簿（定員15名）

種別	氏名	現職名	住所
学校教育 社会教育 関係	高添門司	佐賀県公民館連合会長	伊万里市大川町大川野
	藤本満東	伊万里市教育委員会教育長	伊万里市立花町1355-9
	川崎保美	有田工業高等学校校長	有田町中部乙2366-2
	樋口武男	多久市立東部中学校校長	佐賀市昭栄町2-6
学識 経 験 者	永竹威	佐賀県文化団体協会会長	佐賀市六座町9-1
	嘉村モト	佐賀県婦人連絡協議会理事	佐賀郡東与賀町下飯盛
	村山宅美	佐賀大学名誉教授 佐賀県理科教育振興会会長	佐賀市北川副町木原
	三好不二雄	佐賀大学名誉教授	佐賀市赤松町11-11
	石本秀雄	佐賀大学名誉教授	佐賀市中の小路9-29
	岸田勉	石橋美術館館長	久留米市津福本町931-4
	岡崎敬	九州大学文学部教授	福岡市東区香住ヶ丘3丁目20-15
	米倉利昭	佐賀大学教育学部教授	佐賀市本庄町大字本庄528-1
	平田寛	九州大学文学部教授	宗像郡宗像町日の里5丁目3-25
	石井義彦	佐賀県議会議員	武雄市武雄町富岡
河村健太郎	佐賀新聞社編集局長	佐賀市本庄町三木松	

### 協議会開催状況

第1回（55・8・8）

- 議 題
- (1) 役員選出
  - (2) 昭和55年度事業報告について
  - (3) 昭和55年度事業予算について
  - (4) その他

第2回（55・11・19）

- 議 題
- (1) 昭和55年度事業実績について
  - (2) 昭和56年度事業計画（案）について
  - (3) その他

第3回（56・2・25）

- 議 題
- (1) 昭和55年度事業実績について
  - (2) 昭和56年度予算案について
  - (3) 常設展のあり方等について
  - (4) その他

6. 昭和55年度歳出予算

昭和55年度歳出予算一覧

科	目	予算額 (単位千円)
1.	博物館運営費	43,354
	管理運営費	42,014
	会議及び研修費	843
	博物館協議会費	497
2.	資料整備費	42,638
	資料購入費	14,200
	資料整理費	7,570
	資料収集費	20,868
3.	研究調査費	1,442
	研究費	370
	調査費	1,072
	次年度企画展調査費	94
	歴史資料調査費	83
	三根町本分貝塚発掘調査費	415
	岸岳報告書	480
4.	特別企画展費	8,146
	黒田清輝展	2,131
	理科作品展	49
	九州の文化展	5,966
5.	常設展費	1,779
6.	普及事業費	607
	研究講座費	22
	巡回展示費	39
	資料刊行費	546
7.	茶室管理運営費	335
	計	98,301

## 事業の概況

### 1. 常設展

名称 佐賀県の歴史と文化展

会期 第1期 昭和55年4月1日～昭和55年5月11日

第2期 昭和55年6月15日～昭和55年9月25日

第3期 昭和56年2月11日～昭和56年3月31日

会場 1・2・3号展示室

観覧料 大人50円(30円) 大・高生30円(20円)

中・小生20円(10円)

#### 展示概要

##### 1. ふるさとの自然(1号展示室)

- (1) 佐賀県の地質、県内の岩石、化石など
- (2) 佐賀県の生物、野鳥、蝶、甲虫、植物標本等

##### 2. 原始古代の郷土(2号展示室)

- (1) 旧石器、先土器類時代
  - ・多久三年山遺跡出土の石器類など
- (2) 縄文時代
  - ・県内出土の始源期から晩期に及ぶ土器類等  
(新資料) 肥前町百田洞穴出土遺物

- (3) 弥生時代
  - ・石器、土器、装身具、青銅器等  
(新資料) 二塚山遺跡出土遺物

- (4) 古墳時代
  - ・武具、農工用具、土器類など
  - ・装飾古墳壁画類

- (5) 歴史時代
  - ・肥前国政庁、古寺院出土遺物類、木簡類
  - ・経塚出土遺物類
  - ・祭祀遺跡出土遺物類  
(新資料) 霊仙寺遺跡出土遺物

##### 3. 古代・中世の歩み

- (1) 肥前の仏教美術
  - ・円鑑禪師坐像などの彫刻、仏具類
  - ・揚柳観音図像などの仏画



(新資料) 両界曼荼羅図(桐野山妙覚寺)

- (2) 元寇、倭寇関係…蒙古襲来絵詞など
- ##### 4. 藩政期から幕末維新の佐賀
- (1) 藩政の成立前後…竜造寺隆信鎧、肥前名護屋城図屏風など
  - (2) 藩政期の文教…鬼丸聖像、葉隠問書など
  - (3) 幕末から明治…長崎警備、科学技術資料など
  - (4) 先覚者の書画
- ##### 5. ふるさとの民俗(2号展示室)
- (1) 肥前壳薬関係資料…田代の製薬用フルイ薬袋等
  - (2) 有明海干潟漁撈用具…ムツとり用具など
  - (3) 船で使う生活用具…ユダル・ジロなど
  - (4) 灯
    - ・住いで使うあかり…有明あんどん等
    - ・農業用あかり…ガンドウなど
    - ・漁業用あかり…各種ランプ
- ##### 6. 近代の絵画
- (1) 百武兼行とその周辺  
原田直次郎、山木芳翠、百武兼行、黒田清輝、小代為重、岡田三郎助の各作品  
(新資料) 原田直次郎「渋谷甚之助像」  
黒田清輝「小代為重像」
  - (2) 大正、昭和期の郷土作家
- ##### 7. 郷土の工芸
- (1) 陶磁器…古唐津、古伊万里、柿右衛門、鍋島藩窯の各様式類
  - (2) 染織…鍋島更紗、段通、佐賀錦、鍋島小紋裃等
  - (3) 刀剣武具類…肥前忠吉初代～9代各作刀等

・宮田系の肥前具足など

(新資料)「近江大掾藤原忠廣」刀

・「黒漆塗雪の下胴具足」

銘「天正十七年二月吉日、雪下政家作」

## 2. 企 画 展

### (1) 黒田清輝展

主 催 東京国立文化財研究所、佐賀県教育委員会、  
佐賀県立博物館

会 期 昭和55年5月17日～6月8日

#### 展 示 概 況

東京国立文化財研究所の黒田関係所蔵品の中から、油彩、デッサン、スケッチ等約120点を展示した。会期中多くの人々の好評を得、観覧者数は12,347人であった。



会 場 2・3号・大展示室

観 覧 料 大人 大・高生 中・小生  
個人 400 200 100  
団体 300 150 50  
(団体は20名以上)

#### 出 品 概 況

No	画 題	制 年	品 質	大 き さ
1	構図(羊飼到天女)	1887	カンヴァス・油彩	33.5×47.2
2	田舎家	1888	カンヴァス・油彩	42.3×54.3
3	裸体・女(後半身)	1889	カンヴァス・油彩	60.3×50.5
4	裸体・女(全身)	1889	カンヴァス・油彩	81.6×44.7
5	裸体・女(全身)	1889	カンヴァス・油彩	78.8×54.0
6	裸体・男(半身)	1889	カンヴァス・油彩	60.0×43.9
7	自画像(トルコ帽)	1889	カンヴァス・油彩	40.5×30.7
8	祈 禱	1889	カンヴァス・油彩	74.0×53.0
9	画室の一隅	1889	カンヴァス・油彩	54.6×45.6
10	原	1889	カンヴァス・油彩	38.0×46.0
11	羊を抱く少女	1889	板・油彩	26.3×20.8
12	パリー風景	1890	板・油彩	40.7×27.4
13	少女の顔	1890	カンヴァス・油彩	24.5×18.0
14	編物	1891	カンヴァス・油彩	48.7×59.2
15	枯れ野原(グレー)	1891	カンヴァス・油彩	49.3×65.0
16	赤髪の少女	1892	カンヴァス・油彩	80.6×64.5
17	ブレハの海岸	1892	カンヴァス・油彩	38.7×64.0
18	風景(グレー)	1892ころ	板・油彩	23.5×34.8
19	残雪	1892ころ	カンヴァス・油彩	45.7×36.7
20	横浜本牧の景	1894	板・油彩	24.5×33.0

No.	画 題	制作年	品 質	大 き さ
21	昼寝	1894	カンヴァス・油彩	49.8 × 61.0
22	昔語り下絵 (構図Ⅱ)	1896	カンヴァス・油彩	41.1 × 63.3
23 29	昔語り下絵 (草刈り娘、僧、舞妓、 仲居、男、男と舞妓)			
25	昔語り下絵 (舞妓)	1896	カンヴァス・油彩	94.4 × 46.8
26	昔語り下絵 (仲居)	1896	カンヴァス・油彩	93.8 × 47.7
30	昔語り下絵 (清閑寺景)	1896		
31	昔語り下絵 (清閑寺門)	1896		
32	犬	1897	板・油彩	23.0 × 32.2
33	母子	1897	カンヴァス・油彩	36.6 × 29.0
34	漁舟着岸	1897	カンヴァス・油彩	27.7 × 38.0
35	湖畔	1897	カンヴァス・油彩	69.0 × 84.7
36	書見	1898	カンヴァス・油彩	59.0 × 40.5
37	香港	1900	板・油彩	32.7 × 23.5
38	花野下絵	1907	カンヴァス・油彩	33.5 × 46.0
39	桂公肖像 (画稿)	1910	カンヴァス・油彩	59.4 × 48.8
40	婦人肖像	1911 ~ 12	カンヴァス・油彩	65.8 × 50.4
41	森の中 (パステル)	1910	パステル・紙	40.2 × 15.1
42	雲 (6枚入)	1913	板・油彩	各 26.0 × 34.5
43	もるる日影	1914	カンヴァス・油彩	53.2 × 45.8
44	農婦	1914	カンヴァス・油彩	60.5 × 45.5
45	花野	1907 ~ 15	カンヴァス・油彩	126.5 × 181.2
46	鎌倉にて (小壺にて、菜種、初夏の田舎)	1916	板・油彩	各 14.0 × 18.0
47	温室花壇	1919	カンヴァス・油彩	44.3 × 59.4
48	嵐	1919	板・油彩	26.3 × 34.1
49	夕の梨畑 (夕の原、夕の景)	1919	板・油彩	各 13.6 × 18.0
50	案山子	1920	板・油彩	26.1 × 34.8
51	つつち	1921	板・油彩	26.7 × 35.4
52	山つつち	1921	板・油彩	28.0 × 38.5
53	稲荷神社	1922	カンヴァス・油彩	45.6 × 60.7
54	雪	1922	板・油彩	33.0 × 45.4
55	薔薇	1923	板・油彩	33.9 × 28.0
56	挹芳園	1923	板・油彩	25.4 × 33.4
57	梅林	1924	板・油彩	25.9 × 34.8
58	林	1924	カンヴァス・油彩	79.0 × 66.7
59	葡萄		板・油彩	27.8 × 35.5
60	しゃくなぎ		板・油彩	27.3 × 35.5

木炭デッサン

No	画 題	制作年	大 き さ	No	画 題	制作年	大 き さ
1	自 画 像	1885年	27.3×22.7 cm	29	夏 凶 画 稿	1892年	31.0×48.0 cm
2	女の顔 (模写)	1886年	62.5×47.5 cm		(坐る女)		
3	石 膏 像	1887年	63.0×47.0 cm	30	夏 凶 画 稿	1892年	29.5×46.0 cm
4	裸 婦 習 作	1887年	63.0×47.2 cm		(横たわる女)		
5	裸 体 習 作	1887年	63.0×47.0 cm	31	夏 凶 画 稿	1892年	29.5×35.0 cm
6	裸 婦 習 作	1888年	62.5×47.3 cm		(坐る女)		
7	裸 体 習 作	1888年	63.0×47.0 cm	32	昔語り図画稿	1896年	63.0×47.0 cm
8	裸 体 習 作	1888年	63.0×47.0 cm		(構図)		
9	少 年	1888年	63.2×47.0 cm	33	昔語り図画稿	1896年	63.0×47.0 cm
10	裸 婦 習 作	1888年	63.2×47.0 cm		(手)		
11	裸 体 習 作	1889年	62.5×47.0 cm	34	昔語り図画稿	1896年	63.0×47.0 cm
12	女 の 顔	1889年	62.5×47.4 cm		(舞妓半身像)		
13	椅子による女	1889年	62.5×47.5 cm	35	昔語り図画稿	1896年	63.0×47.0 cm
14	裸 婦 習 作	1890年	63.0×47.0 cm		(男着衣半身像)		
15	繡物する女	1890年頃	62.5×47.5 cm	36	昔語り図画稿	1896年	63.0×47.0 cm
16	編物する女	1890年頃	62.5×47.5 cm		(男の脚)		
17	机による女	1890年頃	63.0×47.0 cm	37	昔語り図画稿	1896年	63.0×47.0 cm
18	女 の 顔	1890年頃	63.0×47.0 cm		(手)		
19	雪 景	1890年頃	62.5×47.5 cm	38	昔語り図画稿	1896年	63.0×47.0 cm
20	夏 凶 画 稿	1892年	47.0×32.0 cm		(男裸体半身像)		
	(傘持つ女)			39	昔語り図画稿	1896年	63.0×47.0 cm
21	夏 凶 画 稿	1892年	48.0×32.0 cm		(仲居全身像)		
	(傘持つ女)			40	昔語り図画稿	1896年	63.0×47.0 cm
22	夏 凶 画 稿	1892年	38.5×26.5 cm		(仲居全身像)		
	(女の顔)			41	昔語り図画稿	1896年	63.0×47.0 cm
23	夏 凶 画 稿	1892年	36.0×28.0 cm		(舞妓全身像)		
	(手)			42	昔語り図画稿	1896年	63.0×47.0 cm
24	夏 凶 画 稿	1892年	47.5×31.5 cm		(舞妓半身像)		
	(女の顔)			43	昔語り図画稿	1896年	63.0×47.0 cm
25	夏 凶 画 稿	1892年	48.0×32.0 cm		(僧半身像)		
	(手)			44	昔語り図画稿	1896年	63.0×47.0 cm
26	夏 凶 画 稿	1892年	31.0×48.0 cm		(僧の手)		
	(女の顔)			45	昔語り図画稿	1896年	63.0×47.0 cm
27	夏 凶 画 稿	1892年	31.0×48.0 cm		(草刈り娘全身像)		
	(手)			46	昔語り図画稿	1896年	63.0×47.0 cm
28	夏 凶 画 稿	1892年	31.0×47.0 cm		(草刈り娘の足)		
	(坐る女)						

No.	画 題	制作年	大 き さ	No.	画 題	制作年	大 き さ
47	昔語り図画稿 (僧の足)	1896年	63.0×47.0 cm	49	婦人肖像	1898年	63.2×47.3 cm
48	昔語り図画稿 (草刈り娘の顔)	1896年	63.0×47.0 cm	50	花野図画稿	1907年頃	63.0×47.0 cm

#### 写生

1	写生帖2号 (Fontainebleau)	1887年	1887年	10	写生帖10号 (京都旅行)	1893年
2	写生帖3号 (ベルギー旅行, Blankenberge)	1887年	1887年	11	写生帖11号 (京都旅行)	1893年
3	写生帖4号 (Gréz, 解剖学講議)	1888年	1888年	12	写生帖12号 (京都旅行)	1893年
4	写生帖5号 (Barbizon, Boigneville)	1888~89年	1888~89年	13	写生帖26号 (北海道旅行)	1894年
5	写生帖6号 (Blankenberge)	1889年	1889年	14	写生帖13号 (横浜本牧, 鎌倉)	1894年
6	写生帖7号 (Gréz)	1890年	1890年	15	写生帖14号 (日清戦争)	1894年
7	写生帖8号 (アルザル旅行, Gérardmer, Epinal)	1891年	1891年	16	写生帖15号 (日清戦争)	1894年
8	写生帖9号 (Bréhat)	1891年	1891年	17	写生帖16号 (日清戦争-野戦病院)	1894~5年
9	写生帖25号 (Gréz, 夏図構図)	1892年	1892年			

#### 書 簡

1	黒田清綱宛	1884. 10. 3	3	黒田清綱宛	1887. 4. 8
2	黒田清綱宛	1886. 2. 10			

#### 日 記

1	1891年6月12日~25日 (明治24年, 独仏国境旅行記)	3	1896年1月~12月 (明治29年)
2	1895年1月18日~30日 (明治28年, 日清戦争従軍日記)	4	1899年住所録 (明治32年, 表紙・自画像)
		5	1917年1月. 12月 (大正6年)

#### 参考出品

1	朝妝 (焼失) 写真パネル	1893年	4	遺品 画室用イゼールと椅子
2	昔語り (完成図・焼失) 写真パネル	1898年	5	遺品 絵具箱
3	高村光太郎作 黒田清輝像	ブロンズ 1932年	6	記録写真16枚

## 2) 九州の文化展

主 催 佐賀県立博物館、佐賀県教育委員会  
 後 援 九州各県教育委員会、九州博物館協議会  
 会 場 1・2・3号、大展示室  
 観 覧 料 大人 400 円( 300 円)大・高生 200 円( 150 円)  
 中・小生 100 円( 70 円)



### 展 示 概 況

当館開館10周年記念展の一つで、九州各博物館・美術館等に所蔵されている美術・工芸品を中心に日本文化の発展に果たした九州の役割と、その文化を紹介した。第1部「門戸・その九州」(85件192点)第2部「美術工芸にみる九州の文化」(175件220点)第3部「琉球の文化」(47件54点)とし、総計307件466点で国宝1点、重要文化財10点、県指定文化財7件13点が含まれている。

この展観では、九州の役割を日本文化の形成の上で、外来文化の門戸としてとらえ、資料もその関係にしばって展示した。この種の展観は九州でも初めての試みとして好評があり、県内外関係者をはじめ、学生中高年層の入観者が多く見られた。なお、各県の出品数は佐賀県93件(215)長崎県52件(53)福岡県50件(72)大分県7件(7)熊本県20件(22)鹿児島県34件(39)沖縄県47件(54)その他九州外4件(4)であった。

### 「九州の文化展」出品目録

#### 第1部 「門戸・その九州」

	品 名	作 者	点数	年 代	材 質	寸 法	所蔵・保管機関	備 考(指定)
(1) 大陸文化の移入								
1	曾畑式土器		1点	縄文時代		高25.3口径21.3	福岡県 九州歴史資料館保管	柿原遺跡
2	曾畑系土器		1組	〃			佐賀県立博物館	佐賀県内出土
3	櫛目文土器		1組	〃			九州大学	東三洞貝塚
4	南福寺系土器		3点	〃			佐賀県立博物館	坂の下遺跡
5	夜臼式土器(甕・壺)		2点	〃		甕高46.0口径45.0 壺現高11.4	九州大学	原山支石墓
	〃 ( 〃 )		4点	〃		壺高51.0 甕高25.4 壺高17.0 壺高13.7	佐賀県 祐徳博物館	五反田支石墓
	〃 (壺・高坏・異形壺)		3点	〃		壺高15.0 高坏高 11.5 異形壺高17.5	佐賀県教育委員会	丸山遺跡
6	板付式土器(壺)		1点	弥生時代		高14.9	佐賀県立博物館	戦場ヶ谷遺跡

	板付式土器（甕・壺）	2点	弥生時代		甕高28.5 壺高39.5	佐賀県教育委員会	町南遺跡
7	朝鮮系無文土器（甕）	1点	〃		高13.0 口径13.5	福岡市立歴史資料館	諸岡遺跡
	〃（甕・壺）	3点	〃			福岡県教育委員会保管	みくにの東遺跡
	〃（〃）	3点	〃		壺高56.2 口径27.7	佐賀県教育委員会	土生遺跡
8	伽耶系陶質土器（広口長頸壺、直口短頸壺、甕）	5点	古墳時代		広口長頸壺 高16.6 高18.8 高20.9 直口短頸壺 高13.9 甕13.9	福岡県甘木市教育委員会	池ノ上墳墓群
	〃（大形器台）		〃		復元口径39.4 器 高33.4	福岡県教育委員会保管	奴山5号墳
9	須恵器（甕・甗）	2点	〃		甕高21.9 ・高17.2	福岡県甘木市教育委員会	池ノ上墳墓群
	〃（子持高坏）	1点	〃		高49.5	佐賀県立博物館保管	松葉2号墳
	〃（高坏・坏・甗）	3点	〃			〃	男女神社古墳 六本黒木古墳
	〃（筒形器台）	1点	〃		高39.4 口径13.5	〃	上野古墳
	〃（台付子持壺）	1点	〃		高36.0 口径20.4	〃	鳥栖市楠比
10	大陸系磨製石器（給刃石斧・挟入石斧・扁平片刃石斧）	3点	弥生時代			福岡市立歴史資料館	板付遺跡
	大陸系磨製石器（挟入石斧・扁平片刃石斧・石庖丁）	7点	〃		挟入石斧 長15.7 長14.6 石庖丁 長10.0	佐賀県立博物館	土生遺跡 半田遺跡
11	鉄製農工具（鎌・斧）	4点	〃		鎌長27.0 長25.3 斧長21.8 長10.7	佐賀県基山町教育委員会	城ノ上遺跡
	〃（ノミ・斧）	4点	〃		ノミ長13.8 斧長14.0 長10.0 長5.7	〃	千塔山遺跡
12	木製農具レプリカ（鋤・丸鍬・打鍬・五本歯鍬）	5点	〃		鋤長130.0 長106.3 打鍬長89.0	福岡県九州歴史資料館	板付遺跡 鹿部東町遺跡等
	〃（二又鍬）	1点	〃		長49.0	福岡市立歴史資料館	板付遺跡
13	炭化米	1組	〃			九州大学 佐賀県立博物館	有田遺跡・立岩遺跡・土生遺跡
14	細形銅剣	1点	〃		長23.5	佐賀県 祐徳博物館	切通遺跡（県重文）
15	細形銅戈	1点	〃		長26.1	佐賀県北茂安町教育委員会	北尾遺跡（県重文）
16	中広形銅矛	1点	〃		長80.2	佐賀県立博物館	武雄市橋（県重文）
17	銅剣形鉄剣	1点	〃		長31.5	佐賀県立博物館保管	久保田遺跡
18	紫環頭大刀	1点	〃		長51.2	佐賀県祐徳博物館	三津永田遺跡（県重文）
19	銅製鋤先	1点	〃		長6.0 幅8.3	佐賀県教育委員会	二塚山遺跡
20	流雲文縁獣帯鏡	1点	〃		径14.3	佐賀県 祐徳博物館	三津永田遺跡（県重文）

21	連弧文鏡	1点	弥生時代		径17.8	佐賀県立博物館	一本谷遺跡
22	小形仿製鏡	1点	〃		径8.5	佐賀県教育委員会	二塚山遺跡
	〃	1点	〃		径8.5	〃	〃
	〃	1点	〃		径7.7	〃	〃
23	貝 釧	3点	〃		9.7×6.8 9.3×6.3 9.2×6.2	佐賀県 祐徳博物館	切通遺跡(県重文)
24	オオツタノハ製貝釧	6点	〃		9.5×7~ 8.7×6.7	佐賀県立博物館	大友遺跡
	ゴウホラ製貝釧	3点	〃		長径9.2~9.0	〃	〃
	イモガイ製貝釧	3点	〃		10.0×7.6 10.0× 7.6 9.4×7.4	〃	〃
	イモガイ製装身具	1点	〃		径4.1 高1.1	〃	〃
25	有鉤釧形銅器	2点	〃		長径8.7 長径8.2	〃	桜馬場遺跡(重文)
26	ガラス製装身具	4連	〃			佐賀県教育委員会	二塚山遺跡
27	ガラス製勾玉・鋳型レプリカ	1組	〃		勾玉 長5.2	福岡市立歴史資料館	福岡市弥永原出土品
28	金印レプリカ	1点	〃			明治大学	福岡市志賀島出土品
29	鉄 鋌	4点	古墳時代			福岡県 九州歴史資料館	花笠古墳
30	鉄製農具(鋤・手斧・斧・鉄・鋸・たがね・鎌・鋤先)	10点	〃		鋤長31.0 手斧34.3 鉄20.6	佐賀県立博物館	丸山古墳群・山王古墳 東十郎古墳群・天神尾古墳
31	鉄製武器(剣・矛)	5点	〃		剣長57.0 長52.0 長35.2 長33.8 矛長32.0	佐賀県教育委員会	丸山古墳群
32	短 甲	1点	〃		高44.0	佐賀県立博物館	一の谷古墳
33	盾持武人埴輪	1点	〃		高100 幅40	福岡県教育委員会	仙道古墳
34	石製鞆	1点	〃		高80.5 厚15.0	福岡県 九州歴史資料館	岩戸山古墳
35	太田古墳壁画・模写図	1点	〃		133.5×228	佐賀県立博物館	田代太田古墳
36	珍敷塚古墳壁画・カラーコルトン	1点	〃			福岡県 九州歴史資料館	珍敷塚古墳
(2) 大宰府と鴻臚館							
1	鬼 瓦	1点	8C		高さ53.0	福岡県 太田寅人	重文
2	軒丸瓦・軒平瓦	各1点	〃			福岡県 九州歴史資料館	
3	蓮華唐草文埴	1点	〃			〃	

4	鳳凰文母	1点	三国時代 扶余		たて28.9よこ28.7 厚さ4.6	佐賀県祐徳博物館	
5	蓮華文母	1点	〃		たて29.3よこ29.0 厚さ4.8	〃	
6	須恵器	5点	8C			福岡県 九州歴史資料館	
7	緑釉陶器	2点	10C			〃	
8	絞胎陶枕片	1点	8C			〃	
9	越州窯陶磁片	5～ 10	10・11C			福岡市立歴史資料館	
10	「少蔭」硯	1点	〃			〃	
11	翰苑 卷第三十	1点	9C		27.3×157.0	福岡県 太宰府 天満宮	国宝
12	〃 (複製)	1点				〃	
13	大宰府正庁跡カラー写真パネル	1点	8C代		2m×2m	福岡県 九州歴史資料館	
14	大宰府正庁跡伽藍配置パネル	1点				〃	
(3) 蒙古襲来・倭寇							
1	蒙古襲来絵巻 (模本)	3巻	江戸		幅30	熊本県 菊池神社	
2	倭寇図巻 (模本)	1巻	明		32.0×552.0	佐賀県立博物館	
(4) 鉄砲キリスト教の伝来							
1	南蛮人来朝之図屏風 (複製)	6曲 1双	慶長初期	原色写真	168.0×390.0	長崎県立美術館	
2	聖フランシスコ・ザビエル像 (複製)	1面	江戸初期	〃	61.0×48.7	神戸市立南蛮美術館	
3	鉄砲秘伝図	1巻	〃	紙本著色	23.0×65.0	佐賀県立図書館	
4	聖体秘蹟図指物 (天草四郎陣中旗)	1面	〃	絹本著色	108.6×108.6	熊本県本渡市立 天草切支丹館	重文
(5) 文禄慶長の役							
1	肥前名護屋城図屏風 伝光信筆	6曲 1隻	桃山期	紙本淡彩	157.0×350.2	佐賀県立博物館	県重文
2	朝鮮軍陣屏風 大久保雪堂模写	6曲 1隻	明治19年	紙本著色	170.0×368.3		
3	朝鮮の役屏風 中島信徴模写	6曲 1双	明治36年	〃		鹿児島県 尚古 集成館	
(6) 平戸・出島							
1	平戸オランダ商館の図 (写真)	1面	1669	写真版	43.3×54.2	長崎県 松浦史料博物館	

2	出島之図	1幅	寛政期 (1789~1800)	紙本著色	53.0×110.0	長崎県立図書館	
3	長崎日蘭貿易図 広渡湖秀筆	1巻	天明4 (1784)	〃	35.6×700.5	長崎県 松浦史料博物館	
4	長崎港之図 丸山応挙筆	1面	寛政4 (1792)	絹本著色	79.4×99.0	長崎県立美術館	
(7) 朝鮮通信使							
1	朝鮮人来朝図 羽川藤永筆	1幅	元文~寛延 (1736~1750)	紙本著色	69.5×91.3	神戸市立南蛮美術館	
2	朝鮮国礼曹諭告文	2幅	万暦45 (1617)	紙本墨書	101.7×66.1	佐賀県立博物館	
3	津島日記 草場佩川著	3冊	文化8 (1811)	墨書和綴	25.0×17.3		
(8) 黄檗宗の伝来							
1	芦葉達磨図 逸然筆木庵賛	1幅	天和2賛 (1682)	墨書和綴	98.3×38.4	長崎県立美術館	
2	隠元・木庵・即非像 喜多元規隠元賛	1幅	寛文10賛 (1670)	紙本著色	110.7×49.8	神戸市立南蛮美術館	
3	墨竹之図 大鵬筆	1幅	享保8賛 (1723)	紙本墨画	134.8×55.6	長崎県立美術館	
(9) 洋学科学技術の導入							
1	シーボルト像 川原慶賀筆	1面	文政11 (1828)	紙本著色	11.5×9.2	長崎県立図書館	
2	海血手術図 川原慶賀筆	1面	江戸後期	〃	87.0×50.0	長崎県立美術館	
3	外科手術図 伝荒木如元筆	1巻	寛政2奥書 (1790)	〃	24.4×477.1	神戸市立南蛮美術館	
4	種痘図 陣内松齡筆	1幅	昭和2 (1927)	〃	201.5×111.0	佐賀県立病院好	
5	高島秋帆徳丸原演習図 荒木千州筆	1幅	江戸後期	紙本淡彩	84.0×124.0	長崎県立図書館	
6	長崎海軍伝習所絵図 陣内松齡筆	1幅	昭和初期	紙本著色	119.0×166.5		
7	観光丸模型	1基	昭和54	木製	全長135.0 高79.5	佐賀県立博物館	
8	精煉方絵図 陣内松齡筆	1面	昭和初期	紙本著色	75.5×123.0		
9	雲行丸機械図	1紙	安政年間	紙本	37.0×55.0	鹿児島県 尚古集成館	
10	蒸気船雛型	1基	安政2 (1855)	木製	全長68.2 高52.5		
(10) 長崎警備・薩英戦争							
1	長崎港島瞰図	1幅	江戸後期	紙本著色	108.0×231.0	佐賀県立図書館 保管	
2	長崎港警備図屏風 (長崎御当番之図)	6曲 1隻	宝永2 (1705)		117.0×326.0	佐賀県立博物館	

3	長崎港警備図屏風 (長崎御非番之図)	4曲 1隻	宝永2 (1705)	紙本著色	163.5×225.0		
4	薩英戦争絵巻 柳田竜雪筆	1巻	明治	〃	66.0×213.0	鹿児島県 集成館	尚古
5	アームストロング砲弾	2個	幕末	鉄製	(1) 35.0×11.5 (2) 25.0×8.5	〃	
6	佐賀藩製造砲弾	2個	〃	〃	(1) 32.5×16.0 (2) 径20.5		

第2部 「美術・工芸にみる九州の文化」

(1) 請来の仏教美術							
	・仏 像						
1	銅造如来形坐像	1軀	高麗	銅	総高69.5	福岡県	聖種寺
2	銅造如来形坐像	1軀	〃	〃	総高64.0	佐賀県 落	山田部
3	銅造菩薩形坐像	1軀	〃	〃	総高74.4	福岡県 彦	徳田信
4	銅造如来形坐像	1軀	李朝	〃	総高34.3	佐賀県	浄泰寺
5	銅造菩薩形坐像	1軀	〃	〃	総高21.6	佐賀県	圓通寺
	・仏 画						
6	楊柳観音像	1幅	高麗	絹本著色	419.5×254.2	佐賀県	鏡神社 重文
7	地藏菩薩像	1幅	〃	〃	111.0×43.0	福岡県	善導寺 市重文
8	阿弥陀八大菩薩像	1幅	〃	〃	153.5×86.0	佐賀県 園禪寺	広福護
9	釈迦三尊及比丘像	1幅	李朝	〃	168.8×57.3	〃	
10	仏涅槃図	1幅	〃	〃	285.0×237.0	長崎県	最教寺 重文
11	仏伝図	1軀	〃	紙本著色	145.0×109.5	福岡県	木岳寺
12	善財童子歴参図	1幅	〃	〃	105.8×59.0	佐賀県 園禪寺	広福護
13	浄土曼荼羅図	1幅	元	〃	184.8×104.7	熊本県	大慈寺
14	楊柳観音像	1幅	明	〃	140.6×72.2	熊本県	大慈寺
15	紺紙金字 妙法蓮華経	6巻	高麗	紺紙金字	31.9×10.0 (一面)	佐賀県立博物館 保管	
16	紺紙銀字 妙法蓮華経	8巻	〃	紺紙銀字	31.5×10.4 (一面)	〃	
	・仏 具						

17	銭弘假八万四千塔	1基	唐～五代	銅	総高18.4	福岡県 誓願寺	重文
18	九鉢杵	1口	元	〃	総長26.7	〃	
19	九鉢鈴	1口	〃	〃	総高25.6	〃	
20	孔雀文沈金経箱	1合	〃	〃	総高25.5 たて40よこ22.3	〃	
21	朝鮮鏡	1口	高麗	〃	総高87.1	大分県 宇佐八幡宮	重文

(2) 九州の南画

1	山水図(鉄翁書簡付) 伊季九	1幅	不詳	紙本淡彩	27.8×34.8		
2	山水人物図 費漢源	1幅	〃	絹本着色	81.7×30.6	長崎市立博物館	
3	〃 〃	1幅	〃	〃	81.9×30.6	〃	
4	虎図 方西園	1幅	1775	〃	65.0×91.7	長崎市立博物館	
5	梅白頭翁図 〃	1幅	1781	紙本墨画	121.2×47.5	長崎県立美術博物館	
6	水墨山水図 費晴湖	1幅	不詳	〃	124.8×47.5		
7	梅竹図 江稼圃	1幅	1809	〃	133.5×30.1		
8	墨梅図 王克三	1幅	1862	絹本墨画	113.2×37.2		
9	秋景山水図 日高鉄翁	1幅	1855	紙本墨画	131.4×30.2		
10	〃 〃	1幅	1858	絹本墨画	188.1×87.4	長崎県立美術博物館	
11	雲山得意図 〃	1幅	1860	〃	136.3×57.0	熊本県 島田美術館	
12	菊竹雙清図 〃	1幅	1863	〃	101.5×34.6		
13	蘭図 〃	1幅	1867	〃	175.0×86.5		
14	秋景山水図 木下逸雲	1幅	1830	絹本淡彩	161.0×80.0	長崎県立美術博物館	
15	赤壁山水図 〃	1幅	1854	〃	140.9×49.5		
16	背緑山水図 〃	1幅	1862	絹本着色	146.7×71.1	長崎県立美術博物館	
17	花鳥図(牡丹に猫) 〃	1幅	1862	〃	151.0×56.3	〃	
18	歳朝清供之図 〃	1幅	1865	〃	116.0×40.1		
19	秋景山水図 〃	1幅	1866	絹本墨画	111.5×40.7		

20	雪景山水図 三浦梧門	1 幅	1849	絹本淡彩	108.5×42.8		
21	梅溪山水図 “	1 幅	1852	“	108.8×34.3		
22	梅花宿鳥図 田能村竹田	1 幅	1829	紙本淡彩	110.3×30.0		
23	董法山水図 “	1 幅	1829	絹本淡彩	100.0×34.2		
24	猿猴挂樹図 “	1 幅	不詳	紙本淡彩	143.0×38.9	大分県立芸術会館	
25	秋江独釣図 高橋草坪	1 幅	不詳	絹本淡彩	126.0×43.5		
26	富貴長年図 “	1 幅	不詳	絹本著色	113.5×40.9		
27	花鳥山水図屏風 帆足杏雨	1 双	1857	絹本淡彩	各126.2×52.0		
(3) 九州の染と織							
1	天草更紗 夜着	1			丈148.0 拵64.5	熊本県本渡市立天草切支丹館保管	
2	“ 掛布団側	1			183.0×146.0	“	
3	“ 端切	1			“	“	
4	鍋島更紗 見本帖	1			34.0×471.0	佐賀県立博物館	
5	“ 掛軸	1			184.5×51.5	“	
6	“ “	1					
7	“ “	1				佐賀県 正教寺	
8	“ 幔幕	1			115.0×448.0	佐賀県立博物館	
9	“ 帯	1	大 正		28.5×243.0		
10	“ 敷物	1			157.0×217.0		
11	“ 羽織	1	大 正		丈65.0 拵62.5		
12	鍋島段道 蟹牡丹唐草文	1	江戸末 ~明治初		191.0×91.0	佐賀県立博物館	
13	“ 唐草芍薬文	1	明治初		395.5×94.5	“	
14	“ 蟹牡丹文	1	江戸末		178.0×94.0	佐賀県 願行寺	
15	江戸時代博多織古裂屏風	1	江戸末~ 明治初				県指定民俗文化財
16	博多織古裂見本帖	1	“		32.0×75.5		“

17	博多織古裂見本帖	1	江戸末～ 明治初		20.5×29.5		県指定民俗文化財
18	〃	1	〃		20.0×27.5		〃
19	山鹿素行愛用陣羽織	1	17 C		丈99.0 衿58.3	長崎県 松浦史料博物館	
20	華文刺縫陣羽織	1	〃		丈77.8 裾弘97.5	福岡県 嘉穂町教育委員会	重文
(4) 九州の陶磁とガラス							
	•陶磁				D 口 径 H 高 K 高台径 T 底径		
1	本手瀬戸唐津茶碗 (唐津)	1	16 C	陶	D14.5 H7.0 K5.5		
2	黒唐津洲浜形茶碗 (〃)	1	〃	〃	D11.8×13.2 H9.3		
3	三島唐津茶碗 (〃)	1	〃	〃	D13.5×13.8 H7.3 K5.7		
4	絵唐津飛鳥文片口 (〃)	1	〃	〃	D21.3×23.5 H12.3 K18.6		
5	二彩唐津松文徳利 (〃)	1	〃	〃	D4.5 H20.5 T7.2		
6	二彩唐津五耳付牡丹唐 草文壺 (〃)	1		〃	D14.2 H32.0 K15.8		
7	朝鮮唐津亀甲花生 (〃)	1	17 C	〃	D5.5 H22.0 T8.3		
8	奥高麗茶碗「曙」 (〃)	1		〃			
9	三島唐津型紙刷毛目模 駒文平茶碗 (〃)	1	17 C	〃	D18.5 H5.0 K5.8		
10	叩き黄唐津耳付水指 (〃)	1	〃	〃	D17.1 H19.5 K17.0		
11	絵唐津柿の花向付 (〃)	5	〃	〃	D9.8 H6.5 K3.5		
12	絵唐津八角平向付 (〃)	5	〃	〃	D16.5 H3.5 K5.5		
13	染付波兔図平皿 (初期伊万里)	1	〃	磁	D20.7 H2.6 K8.5	佐賀県立博物館	
14	古伊万里人形 (古伊万里)	1	17C末	〃	H54.0	〃	
15	染付芙蓉手VOC文平 皿 (〃)	1	〃	〃	D36.1 H5.2 K18.0	〃	
16	染綿御所車風俗図ひげ 皿 (〃)	1	〃	〃	D28.0 H6.5	〃	
17	濁手色絵花蝶八橋文壺 (柿右衛門)	1	〃	〃	D11.0 H22.0	〃	
18	面取菊花牡丹文徳利 (〃)	1	〃	〃	D1.7 H23.0	〃	
19	色絵花蝶図輪花形深鉢 (〃)	1	〃	〃	D25.0 H11.6	〃	

20	色鍋島墨弾き地文草花 向付 (鍋島藩窯)	1	18C初	磁	D11.0×13.0 H3. 8 K5.7×7.5	佐賀県立博物館	
21	色鍋島けしの花高台皿 ( " )	1	"	"	D20.0	"	
22	色鍋島更紗文高台皿 ( " )	1	17C中	"	D15.4 H3.3	"	
23	古上野叩き片口 (上野)	1	17C末	陶	D17.5×19.0 H11.8 K13.5		
24	古上野筒茶碗 ( " )	1	"	"	D8.4×9.7 H8.8 K5.5		
25	古上野鉢 ( " )	1	"	"	D24.7×26.6 H8.8 K8.3		
26	葉灰釉片口 ( " )	1	"	"	D25.5 H5.5		
27	木灰釉天目茶碗 (高取)	1	"	"	D12.0 H6.5		
28	飴釉皿 ( " )	1	"	"	D14.4 H4.0		
29	肩衝水指 ( " )	1	"	"	胴径20.2 H15.1		
30	双魚鉢 (小代)	1	18C末	"	D21.0×25.5 H7.5	熊本県立美術館	
31	猪口 (5客) ( " )	5	18C初	"	D5.5 H8.2	"	
32	瓢箪茶入 ( " )	1	18C~ 19C	"	D4.6 H10.6	"	
33	白釉茶碗 ( " )	1	"	"	D15.9 H8.0	"	
34	象嵌貝文蛤形鉢 ( " )	1	18C末	"	D26.0×28.5 H8.5	"	
35	肩衝茶入 (八代)	1	17 C	"	D5.8 H7.0	"	
36	瓶子形茶入 ( " )	1	18 C	"	D7.0 H6.0	"	
37	急形香炉 ( " )	1	19 C	"	D39.5 H13.0	"	
38	染付豪潮詩書花生 (網田)	1	18C末	磁	D15.2 H30.5	"	
39	白磁梅形香合 ( " )	1	"	"	D4.5 H2.3	"	
40	白磁花形猪口 ( " )	6	18C末	"	D7.4 H5.2	"	
41	染付水文大鉢 ( " )	1	"	"	D47.6 H13.0	"	
42	緑釉半胴 (龍門司)	1	17C末~ 18C	陶	D26.0 H29.4	鹿児島民芸館	
43	小紋肌釉壺 ( " )	1	18C~ 19C	"	D13.5 H44.5 胴径31.0	鹿児島市立美術館	
44	三彩釉亀甲酒器 ( " )	1	"	"	D2.0 H12.5 胴径18.0	"	

45	刷毛目竹筒形花生 (苗代川)	1	18C~ 19C	陶	D13.5 H27.3 胴径13.5	鹿児島市立美術 館	
46	貼付牡丹文半胴 ( " )	1	"	"	D28.5 H31.0	鹿児島県 苗代 川民陶館	
47	鉄釉貝目徳利 ( " )	1	17 C	"	D10.3 H30.5	"	
48	かきおとし牡丹文半胴 ( " )	1	18 C	"	D25.6 H30.6	"	
49	褐釉刷毛目半胴 ( " )	1	18C~ 19C	"	D27.2 H29.5	"	
50	染付山水大皿(南京皿 山窯) ( " )	1	19 C	磁	D33.5 H5.2 K18.5	"	
51	染付稲文大徳利 (平佐)	1	"	"	D6.0 H44.0 胴径24.0	鹿児島市立美術 館	
52	べっ甲釉チョコカ ( " )	1	18C~ 19C	"	D15.0×15.0 H11.0		
53	色絵草花文チョコカ ( " )	1	19 C	"	D4.2 H10.5 T5.0	鹿児島市立美術 館	
54	17代島津義弘ご判手茶 碗 (古帖佐)	1	17 C	陶	D11.9 H8.2	鹿児島県 尚古 集成館	
55	褐釉雲形象嵌茶碗 ( " )	1	"	"	D12.3 H8.0	鹿児島市立美術 館	
56	褐釉花器 ( " )	1	18 C	"	D4.0 H16.5 胴径8.5	"	
57	蛇蝎釉筒形花生(元立 院窯) ( " )	1	"	"	D8.5 H32.3 T14.0	"	
58	白薩摩竜耳花瓶二重貫 入 (堅野)	1	18C未	"	D3.0 H30.0 T16.0	"	
59	白薩摩茶碗 ( " )	1	"	"	D12.5 H9.0	"	
60	錦手茶碗(仙巖焼) ( " )	1	19 C	"	D11.6 H8.3	鹿児島県 尚古 集成館	
61	片口壺 (能野)	1	18C~ 19C	"	D7.0 H25.0 胴径18.0	鹿児島市立美術 館	
62	鉄釉花瓶 ( " )	1	"	"	D7.0 H19.5 T12.0	"	
63	片身替花瓶 ( " )	1	"	"	D10.0 H15.7 T11.5	"	
•長崎ガラス							
1	松竹梅金銀細工絵酒瓶	1	江戸後期	ガラス	D2.5 H17.0		
2	切子幕文銘酒瓶	1	"	"	D3.5 H21.0		
3	銘酒瓶	1	"	"	D3.0 H21.0		
4	紫ガラス小鉢	1	"	"	D12.5 H8.0		
5	色絵皿	4	"	"	11.0×11.0 H3.0		

6	輪花皿	2	江戸後期	ガラス	D13.2 H3.5		
7	輪花深鉢	1	〃	〃	D19.6 H10.0	長崎市立博物館	
8	鯉掛花生	1	〃	〃	D2.8 長34.0	〃	
9	竹節文花生	1	〃	〃	D11.8 H29.8	〃	
10	ガラス絵入り小箱	1	〃	〃	16.5×12.0	〃	
11	水注	1	〃	〃	H15.0	佐賀県立博物館	
12	筥	1	〃	〃	長6.5	長崎市立博物館	
13	〃	1	〃	〃	長24.5	〃	
14	〃	1	〃	〃	長20.2	〃	
15	〃	1	〃	〃	長14.9	〃	
16	髪飾り	1	〃	〃	長14.5	〃	
17	筥	1	〃	〃	長20.5	〃	
18	〃	1	〃	〃	長18.7	〃	
19	鬺おさえ	1	〃	〃	最大径8.1 H8.6	〃	
	・佐賀ガラス						
1	武雄邑製造取手付容器	1	江戸末 ～明治初	ガラス	D11.0×14.0× H7.5	佐賀県 武雄市 教育委員会	
2	武雄邑製造深鉢	1	〃	〃	D14.8 H7.0	〃	
3	足付皿	1	〃	〃	D18.2 H6.2		
4	銘酒瓶	1	〃	〃	D5.2 H25.3		
5	金魚鉢	1	〃	〃	D25.0 H31.3		
6	金魚鉢	1	〃	〃	D18.5 H30.3		
7	深鉢	1	〃	〃	D22.8 H14.3	長崎市立博物館	
8	深鉢	1	〃	〃	D20.0 H12.5	〃	
9	長頸瓶	1	〃	〃	D5.1 H20.5		
10	笠	1	〃	〃	D18.6 H14.5		

11	14面カットコップ	5	江戸末 ~明治初	ガラス	D6.2 H10.2	鹿児島民芸館	
12	12面カットコップ	1	〃	〃	D6.6 H9.3		
13	薬瓶	1	〃	〃	D1.7 H5.5		
14	薬瓶	1	〃	〃	D1.7 全高5.1		
15	薬瓶	1	〃	〃	D1.7 全高6.1		
16	はし	13	〃	〃	長20.8		
17	水注	1	〃	〃	D18.8 H11.5		
	・薩摩切子						
1	藍色蓋付壺	1	江戸末	〃	D7.7 H13.2	鹿児島県・尚古 集成館	
2	藍色脚付坏	1	〃	〃	D7.2 H16.0	〃	
3	紅色小皿	1	〃	〃	D8.9 H2.8	〃	
4	藍色小皿	1	〃	〃	D8.7 H3.0	〃	
5	紅色中皿	1	〃	〃	D14.8 H3.7	〃	
6	深皿（コップ 小）	1	〃	〃	D4.7 H4.0 底径2.7	鹿児島市立博物 館	
7	小皿（盛 皿 中）	1	〃	〃	D15.0 H6.0 底径9.0	〃	
8	深皿（盛 皿 大）	1	〃	〃	D18.5 H6.0 底径12.5	〃	

### 第3部 「琉球の文化」

番号	品 名	点数	年 代	寸 法	所 蔵 ・ 備 考 保 管 機 関
(1) 絵 画					
1	花鳥図（股元良筆）	1幅	18世紀	98.7×42.7	沖縄県立博物 館 県指定
2	牡丹の図（作者不詳）	1幅	17 〃	122.4×52.3	〃
3	進貢船の図（作者不詳）	1幅	19 〃	134.5×63.0	〃
4	山水図（慎思九筆）	1幅	19 〃	124.0×55.0	〃
5	江戸上り行列図（作者不詳）	1巻	19 〃	29.2×790.6	〃
(2) 書 跡					

6	宮古島下地の首里大屋子への辞令書	1幅	1595年	28.7×82.5 (195.0×67.0)	沖縄県立博物館	県指定
7	尚育王書	1幅	19世紀	132.0×54.0	〃	
8	鄭嘉訓書	1巻	〃	37.5×1000.0	〃	
(3) 陶磁器						
9	面取抱瓶	1	18 〃	高11.8 幅径17.8	〃	県指定
10	家紋入嘉瓶	1	19 〃	高37.3 口径9.7	〃	
11	鉄絵碗	1	17 〃	高6.0 口径13.2	〃	
12	線彫呉須差しからから	1	19 〃	高11.2 口径4.2	〃	
13	赤絵菊花文対瓶	1	19 〃	高19.3 口径2.3	〃	
14	三島手渡名喜瓶	1	18 〃	高17.0 口径3.0	〃	
15	緑釉香炉	1	19 〃	高13.0 幅径21.8	〃	
16	練上手竹筒型花生	1	19 〃	高27.8 幅径14.7	〃	
17	山水凶急須	1	19 〃	高10.8 幅径11.3	〃	
18	ひさご型徳利	1	18 〃	高16.4 口径2.6	〃	
19	呉須絵皿	1	19 〃	高6.6 径23.4	〃	
20	荒焼徳利	1	18 〃	高30.0 口径5.7	〃	
21	荒焼一合枡	1	18 〃	高13.6 口径5.6	〃	
22	味噌甕	1	16~17 〃	高61.8 口径17.3	〃	
23	御殿型厨子甕	1	19 〃	高77.0 38.0×55.3	〃	
(4) 漆器						
24	朱漆山水人物葡萄唐草堆錦東道盆	1	19 〃	高24.6 蓋径34.5	〃	
25	黒漆花鳥密陀絵提重	1	19 〃	枠高32.9 14.6×32.0	〃	
26	黒漆花枝七宝繫螺鈿沈金八角食籠	1	19 〃	高22.3 径21.4	〃	
27	朱漆鳳凰巴紋七宝繫沈金曲玉入	1	19 〃	高16.7 径23.7	〃	
28	黒漆雲龍螺鈿椀	1	18 〃	総高11.7 口径12.3	〃	県指定

29	朱漆山水人物箔絵湯庫	1	19世紀	高32.3 蓋径28.1	沖縄県立博物館	
(5) 紅 型						
30	染分地山松竹梅文様紅型着物(木綿)	1	19 "	身丈127.0×衿68.5	"	
31	水色地菊貝文様紅型着物(麻)	1	19 "	身丈126.0×衿66.0	"	
32	紺地松竹梅巴紋紅型風呂敷	1	19 "	タテ152.0×ヨコ144.0	"	
33	紅型型紙	6	19 "	タテ56.0×ヨコ42.0	"	
(6) 織 物						
34	木綿紺地読谷山花織着物	1	19 "	身丈130.5×衿63.0	"	
35	芭蕉布緋着物	1	20 "	身丈129.5×衿59.5	"	
36	木綿紺地手編織着物	1	19 "	身丈109.5×衿58.0	"	
37	紺地緋ティサージ(経麻、緯木綿)	1	20 "	タテ26.5×ヨコ80.5	"	
38	紺地読谷山花織ティサージ(経麻、緯木綿)	1	20 "	タテ151.5×ヨコ29.0	"	
(7) 芸 能						
39	三味線貞壁型	1	20 "	長さ77.8	"	
40	三味線与那型	1	20 "	長さ78.2	"	
41	胡弓(弓つき)	1	19 "		"	鍋島直紹氏寄贈
42	胡 弓	1	19 "		"	"
43	ツメ(撥)	2	20 "		"	
44	工工四(楽譜)	2	19 "		"	
(8) 書 跡						
45	真珠湊碑(拓本)	1	1522年	145.0×48.5 (206.0×61.5)	"	
46	徐葆光書「中山第一」(拓本)	1	1719年	174.0×82.5 (212.0×97.0)	"	
(9) 金 工						
47	梵鐘「旧円覚寺殿中鐘」	1	1495年	高77.0 径49.0 重60kg	"	重文

(3) 第30回佐賀県美術展

主 催 佐賀県、佐賀県教育委員会 観 覧 料 大 人 大・高生 中・小生  
 佐賀県立博物館 個人 200 100 50  
 会 期 昭和55年11月15日～11月24日 団体(150) (70) (30)  
 会 場 1・2・3号、大展示室 (団体は20名以上)

展 示 概 況

日本画、洋画、彫塑、工芸、書、写真、デザインの各部門で県内から一般公募を行い、入選作に審査員及び物故者の作品を加え470点を展示した。

出 品 目 録 (受賞作、審査員作品、遺作のみ)

第1部 日本画

賞 名	作 品 名	氏 名	賞 名	作 品 名	氏 名
県展奨励賞	下校後の雪	古川末由	県展奨励賞	赤紫	郷田和子
佐賀新聞社賞	雑木紅葉	中野澄子	佐賀県知事賞	宵月	西岡一義

第2部 洋画

佐賀県教育委員会賞	廃家	古賀馨翁	西日本新聞社賞	日常のパターンⅡ	松島伸明
県造形教育研究会賞	手術室	西村徳之	NBC賞	もしもし	広島 巖
佐賀美術協会賞	思念シリーズ(80-00)Ⅱ	宮崎大治郎	県展奨励賞	解体	田中まゆみ
読売新聞社賞	トリオ	原口美津子	日本経済新聞社賞	装う	杉 光定
佐賀新聞社賞	想(Ⅰ)	森木規義	県商工会議所連合会賞	黄色い街角	山口善平
佐賀市長賞	叢と眠る	真子達夫	遺作	朝陽のあたる樹	井手誠一
佐賀県知事賞	淵	木村克己	〃		江口 良
NHK賞	記憶	一瀬章雄	審査員	(版画)	島田章三

第3部 彫 塑

県展奨励賞	洋子	井形亮子	佐賀新聞社賞	蟬Ⅱ(せみ)	大嶋秀樹
〃	大地'80	権藤俊男	佐賀県知事賞	WRING	塚本洋守
佐賀新聞社賞	蟬Ⅰ(せみ)	大嶋秀樹	審査員	鳥のあ 長い髪の女	蛭田二郎

第4部 工 芸

毎日新聞社賞	唐草文蓋物	村島昭文	県陶芸協会賞	染錦若笹紋深鉢	田代亮秀
--------	-------	------	--------	---------	------

賞名	作品名	氏名	賞名	作品名	氏名
佐賀新聞社賞	染色・収穫	森 栄子	県展奨励賞	タピストリー舞	西山ちはる
サガテレビ賞	浪涛	藤井朱明	NHK賞	汐華	嶋田敏生
佐賀県知事賞	湖の影	宮尾正隆	佐賀県教育委員会賞	染色 飛翔	外尾熊太
朝日新聞社賞	白磁彫文花器	野中拓夫	遺作	塩釉 黒釉 流し文盛 器	丸田正美
県展奨励賞	布目染付壺	宮崎祐輔	審査員	池心	佐野猛夫
多久市長賞	唐津叩き飴釉壺	鳥井義信			

### 第5部 書

佐賀県議会議長賞	萬葉の歌	南里石洲	県展奨励賞	壬・草書帖	川原瑞華
日本経済新聞社賞	李白の詩「長干行」	野中正陽	武雄市長賞	旅におもふ	永淵松窓
県文化団体協議会賞	実朝の歌	米倉千鶴子	佐賀県書作家協会賞	押	向 泰博
佐賀新聞社賞	貧交行	米倉信義	鳥栖市長賞	岑参詩	八谷俊彦
佐賀県知事賞	飲中八仙歌 (杜甫の詩)	古賀利明	審査員	游神	桑原江南
佐賀県教育委員会賞	陶淵明の詩	高尾浩正	〃	松浦佐用姫	馬場儀一
県展奨励賞	敦煌	北島正夫			

### 第6部 写真

鹿島市長賞	雨色山系	石崎政秋	佐賀新聞社賞	行者	西田幸一
佐賀県知事賞	露店	山下章宣	県展奨励賞	僧	山口五男
サガテレビ賞	夕映えの校庭より (1)	山本和大	NHK賞	静止した夜	副島次郎
県議会議長賞	蓮華(れんげ)	宮地敏雄	文部大臣奨励賞	鶴殿磨崖仏1	愛甲博光
唐津市長賞	晩秋	山崎和之	県展賞	〃 2	〃
読売新聞社賞	谷れ日2-2	江口孝幸	県展奨励賞	指	宇津江 弘

### 第7部 デザイン

西日本新聞社賞	節エネポスター 「切・確認」	古川誠次	佐賀県知事賞	食べてびっくりNo.1 森須滋郎1900円/新潮社	横谷孝史
NBC賞	JAPAN INTERIOR DESIGN	佐々木孝子	佐賀新聞社賞	第11回現代展 日本彫刻展	納富 司
伊万里市長賞	ポスター	横尾 武	県議会議長賞	佐賀県郷土 民芸まつり(1)	永石繁信
県展奨励賞	回葬(その2)	立石利宏	武雄市文化会議賞	民芸まつり面浮立 さが1	山口晃弘
貯蓄推進委員会賞	雑誌のためのイラストレーション MAGIC SQUAREI	石川智徳	県商工会議賞 所連合会賞	宿酔いのユーホーは きわめてオトメチックだった	渡島順子
県展奨励賞	書籍ポスター 「高校時代」	塚原直明	審査員	永井一正の世界展	永井一正

## (4) その他の企画展

展覧会名称	主 催	会 期	会 場
佐賀美術協会展	佐賀美術協会、佐賀県教育委員会、佐賀県立博物館	6/19～29	3号・大展示室
七夕書道展	佐賀県書道教育連盟、佐賀県立博物館	8/1～5	大展示室
佐賀県書作家協会展	佐賀県書作家協会、佐賀県立博物館	8/7～10	大展示室
九州新工芸展	九州新工芸家連盟、佐賀県立博物館 (後援) 佐賀県、佐賀県教育委員会	8/21～31	大展示室
理科作品展(市)	佐賀県理科教育振興会佐賀市支部、佐賀県立博物館	9/13～17	大展示室
〃(県)	佐賀県理科教育振興会、佐賀県立博物館	9/19～25	大展示室 旧食堂
佐賀県高等学校芸術祭 (書道・美術部門展)	佐賀県教育委員会、佐賀県高等学校美術連盟、 佐賀県高等学校書道教育研究会、佐賀県立博物館	11/28～12/4	123号 大展示室
佐賀県学童美術展	佐賀県造形教育研究会、佐賀県立博物館 (後援) 佐賀県教育委員会	12/11～16	大展示室
日本の陶磁展	ボストン美術館、佐賀県、佐賀市、佐賀県教育委員会、 佐賀市教育委員会、サガテレビ、西日本新聞社、佐賀県立博物館、 (後援) 外務省、文化庁、アメリカ大使館	1/6～2/1	2・3号 大展示室
書初書道展	佐賀県書道教育連盟、佐賀県立博物館	1/17～21	大展示室
佐賀県勤労者美術展	佐賀県、佐賀県立博物館 (後援) 佐賀県教育委員会、佐賀市、佐賀県勤労者福祉協議会	1/31～2/5	大展示室
九州グラフィックデザイン展	九州文化協会、九州グラフィックデザイン協会、 九州沖縄各県、北九州市、福岡市、九州沖縄各県教育委員会、 北九州・福岡市教育委員会、佐賀県立博物館 (後援) 文化庁、文化団体、報道機関ほか	2/10～15	大展示室
第25回佐賀大学教育学部 卒業制作展	佐賀大学教育学部、佐賀県立博物館	2/21～25	大展示室

展 示 概 況

日本画・洋画・彫刻・工芸の4部門にあたって一般公募を行い（日本画）一般公募数7入選数5会員・会友6（彫刻）一般公募数17入選数5会員・会友6入選作と会員・会友作品を合わせて253点を展観した。（洋画）一般公募数185入選数5会員・会友64（工芸）一般公募数64入選数5会員・会友33。

出品展数 3,850 展示点数 850

一般公募入選数78、会員73

一般公募数 168、入選数 47、会友公募数 26、入選 21、会員出品数 53

出品点数 小学校 143 中学校 55 計 198

出品点数 小学校 194 中学校 61 高校 4点 計 259

本県高等学校美術教育の振興と、高校生の芸術文化活動の交流、向上をはかる目的のもので(美術部門) 参加校28校 出品点数 234 (書道部門) 参加校16校 出品点数 196

県下の小・中学校の美術振興を目的とし、絵画・クロッキー・デザイン等約 660 点を展示した。

アメリカの考古学者で、日本文化の研究家であったエドワード・モースが収集した日本各地の陶磁約 6,000 点の中から 175 点を選び展観した。

出品総数 3,560 展示点数 840

本展は県内の工場・事業所（官公庁・学校を含む）等に従事する勤労者から公募したもので今年第12回を迎える。絵画・写真・書・工芸の4部門からなる。出品点数 絵画 67（うち9点受賞）写真 71（うち8点受賞）書 15（うち4点受賞）工芸 12（うち4点受賞）

本展は10回目を迎え、若手デザイナーの登龍門として、また九州の第一線級デザイナーの展覧会として定着してきている。今回の一般公募の課題は「省資源」出品点数 157、出品者数 149 人

佐賀大学教育学部美術・工芸科の卒業制作作品（西洋画・日本画・彫塑・デザイン・窯芸・染織工芸・金属工芸・木材工芸）を展観した。出品点数72点



近代日本洋装の源流  
**黒田清輝展** 黒田清輝展  
ARTIST: SHUNKEI KURODA  
 DATE: 1956

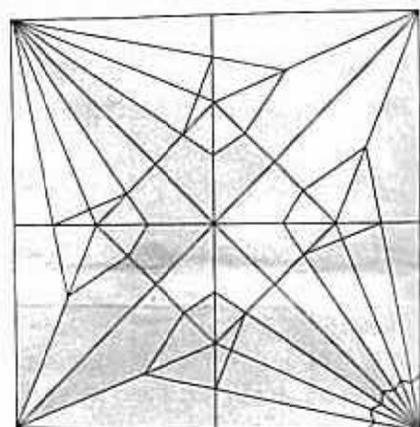
開館10周年記念

# 九州の文化展

第一巻 門外漢の九州  
 第二巻 天竺の文化と九州の文化  
 第三巻 九州の文化

全場一色印刷  
 九州文化センター  
 〒810-0001 佐賀県佐賀市佐賀1-1-1

第1回  
**九州新工芸展**  
 8月21日(木) - 8月31日(日)  
 (月曜休館)  
**佐賀県立博物館**



## 佐賀大学卒業制作展

昭和56年2月21日(土) - 25日(木) 開催  
 佐賀県立博物館  
 入場無料  
 主催 佐賀大学教育学部  
 佐賀県立博物館

公開作品の搬入は11月9日(佐賀県立博物館へ)

# 第30回 県展

11.15. - 24.  
11月15日(木) - 24日(日)  
**佐賀県立博物館**

日本 西洋 工芸 美術 写真 デザイン

事務局 佐賀県教育庁文化課

昭和55年度 観覧状況調

A 常設展	個										観覧料免除			招待者	優待者	合計	開館日数	一日平均	期	備考
	大人	大・高	中・小	大人	大・高	中・小	大人	大・高	中・小	大人	大・高	中・小								
佐賀県の歴史と文化展(4/1~5/11)	660	144	303	268			144	5	1,018						2,542	35	73	4/1~5/11		
" (6/15~9/25)	1,807	296	1,406	308			36	20	856						4,789	87	55	6/15~9/25		
" (2/11~3/31)	781	180	273	177					445						1,979	41	48	2/11~3/31		
計(A)	3,248	620	1,962	753			36	25	2,319						9,310	163	57			
B 企画展	個										観覧料免除			招待者	優待者	合計	開館日数	一日平均	期	備考
大人	大・高	中・小	大人	大・高	中・小	大人	大・高	中・小	大人	大・高	中・小									
緑光会展	288	90	206												594	5	119	4/2~4/6		
黒川尚郷展	5,755	1,326	860	37	2,396	1,006	164							758	12,347	20	617	5/17~6/8		
佐賀美術協会展	1,902	645	287		211	1,130									4,155	10	415	6/19~6/29		
独立CS展	360	50	97												507	5	101	7/23~7/27		
七夕街道展	758	34	805												1,597	4	399	8/1~8/5		
詩作家協会展	707	102	194												1,003	4	251	8/7~8/10		
二科会佐賀支部展	675	82	199												956	5	191	8/13~8/17		
九州新工芸展	1,233	196	412												1,841	10	184	8/21~8/31		
佐賀市児童生徒理科作品展	476	1	747			123									1,347	4	337	9/13~9/17		
佐賀県 "	1,534	298	1,991	18	1,496										5,338	6	890	9/19~9/25		
九州の文化展	2,449	213	564	424	522	1,705									6,807	27	252	10/4~11/3		
県展	4,197	619	1,822	1,599	1,659	2,123									14,016	9	1,557	11/15~11/24		
高校芸術祭書道美術部門展	361	395	156	43	159	11									1,125	6	187	11/28~12/4		
学童美術展	953	60	1,065		952										3,050	5	610	12/11~12/16		
書きぞめ展	1,469	8	909												2,386	4	596	1/17~1/21		
日本の陶磁展	7,428	247	385	45	21										9,894	24	412	1/6~2/1		
勤労者美術展	2,278	72	244												2,594	5	519	1/31~2/5		
九州グラフィックデザイン展	566	162	318												1,046	6	174	2/10~2/15		
第5回佐賀大学教育学部美術工芸科卒業制作展	505	332	148												985	4	246	2/21~2/25		
計(B)	33,904	4,932	11,389	2,166	4,947	8,567	164								71,588	163	439			
合計(A)+(B)	37,152	5,552	13,371	2,919	4,947	8,603	388	25	2,319						80,898	326	248			

#### 4. 普及活動

##### (1) 資料の刊行

###### ◇ 博物館報

発行回数5回、合計52頁、その内容は次のとおりである。

№48号 黒田清輝展特集号 昭和55・5・15発行 8頁

№49号 仏像彫刻と鳥類について資料紹介 昭和55・7・15発行 8頁

№50号 九州の文化展特集号 昭和55・10・1発行 12頁

№51号 仏像彫刻の調査記録、玄界の捕鯨問書き、古伊万里油壺について資料紹介 昭和55・2・26発行 16頁

№52号 古賀忠雄彫塑展、山口猛彦洋画展特集号 昭和56・3・31発行 8頁

各号1,000部印刷、B5版、アート紙使用、配布先は、県内教育機関・社会教育団体及び主な博物館等で、館の利用促進に活用している。

###### ◇ 年報

昭和54年度佐賀県立博物館年報№10を発行し、昭和54年度の博物館の管理運営・事業活動・資料充実状況の概要及び茶室の利用状況等を掲載し、関係各方面に配布した。

印刷部数 800部

形態 B5版アート紙使用101頁

◇「美術工芸にみる門戸・九州の文化展」図録 開館10周年記念「九州の文化展」に伴って刊行したもので、カラー8頁を含め210頁。全出品資料の写真及び解説。九州の美術工芸に関する各分野の権威者の論考を掲載している。

印刷部数 1,000部

##### (2) 研究講座

本年度は「黒田清輝展」「九州の文化展」「日本の陶磁展」の開催期間中に記念講演会を実施した。その開催状況は次のとおりである。

期 日	演 題	講 師	参加者数
5月25日	黒田清輝と近代日本洋画	東京国立文化財研究所主任研究官 陰里鉄郎氏	80名
10月12日	美術工芸に見る門戸九州の文化	長崎市立博物館長 越中哲也氏	70名
1月25日	日本茶陶の流れー利休・織部・遠州(モースコレクションを中心にして)	佐賀女子短期大学教授 永竹威氏	160名
計			310名

##### (3) 移動博物館

本年度は、肥前町と東脊振村で実施した。その開催状況は次のとおりである。

会 期	会 場 名	期 間	観覧者数
昭和55年 11・15～11・17	肥前町立入野小学校校体育館	3日	2,538名
昭和55年 11・29～11・30	東脊振村公民館	2日	1,711名
計			5日 4,249名

## 5. 発掘調査

### 本分貝塚発掘調査—三養基郡三根町大字西島—

当館では昭和45年10月の開館以来、佐賀県域における旧石器時代から古墳時代にいたる原始・古代文化の復元ならびに他地域との文化交流の解明を目的として発掘調査を実施してきた。この10年に及ぶ調査によって少なからぬ考古学的事実が判明し相応の研究成果を得ることができ、出土遺物は常設展示の内容を充実させるうえに大きな役割を果たしてきた。

昭和55年度は、佐賀県域の弥生文化の解明にとって重要な位置にありながら、その大部分が未だ正式な発掘調査が実施されていない佐賀平野部の貝塚群の調査に着手した。これらの貝塚はこれまでの表面採集資料による大まかな年代比定という研究方法によってだけでも、弥生時代人たちが自然堤防上や沖積平野内の微高地へと進出していった当時の土地利用状況を物語る遺跡であり、また佐賀平野の自然地理的環境の復元研究の資料となってきたものである。

しかし、個々の貝塚の形成開始期と存続期間が未だ確定していない現状は、貝塚相互間の関係や脊振南麓の低丘陵上の諸集落との関係などを明らかにする上で大きな隘路となっている。

そこで昭和55年度は、当館と三根町教育委員会の共催で、

#### ①貝塚形成開始期と存続期間 ②魚貝類採捕活動の実体及び水稲耕作との関係

を明らかにすることを目的として、同町所在の本分貝塚の発掘調査を昭和56年3月10日から3月20日まで実施した。

本分貝塚は佐賀平野の東端を流れる筑後川の河口から20kmほど遡った西岸側に広がる沖積地内の微高地（標高5m前後）に形成された弥生時代中期の貝塚である。昭和28年春に貝塚のある畑地及び宅地の一部を地下げして水田化する作業に先だち緊急調査が実施された。今回の調査区域は、貝層の残存状況が最も良好と思われる中島氏宅地の東南隅、すなわち昭和28年の調査地点からやや北の地点に1.5×3mのトレンチ（A地点）を東西に設定し、ここから水田をはさんで南へ30m、川原氏宅地内に2×2mのトレンチ（B地点）を設定した。

A地点は標高5.06mで、20～30cmの表土層下に、カキ殻層が40cmほど堆積し中期前半から後半の土器が大量に混じっていた。標高4.3m（カキ殻層内）のレベルで南に丸い半円状の掘込み線を確認し、10cmずつ掘り下げていった結果、地山掘込み線での大きさで、直径2.6m深さ0.5m、貝層上面からの深さ1.1mの土坑が検出された。丹塗の高杯・壺・甕・特殊筒形器台、日常生活用の多量の土器が出土したことから、この土坑はいわゆる「土器溜り」と推定された。土器以外の遺物では、砥石・土



A地点（東南方向から望む）



B地点（南から）

製投弾・叩き石・土器破片を利用した沈子（土錘）・軽石製浮子（アバ）・数百点の獣魚骨が出土し、大量のカキ殻がみられることは弥生時代中期における有明海での魚貝類の採捕活動が盛んな様子が推測される。

B地点は標高5mで約40cmの表土層の下に破碎カキ殻層があり、大量の中期土器群中に獣骨が混在していた。調査日程の関係で、深さ60cmで発掘を中止し、A地点と同時期に形成された貝層であることを確認したのち後日の調査を期し埋めもどしを行った。

## 資料の概況

### 昭和55年度購入資料

#### ① 考古資料

資料名	規格	数量	備考
把頭飾（レプリカ）	5.3×4.1高4.0cm	1	三田川町田手二本黒木出土
三角縁三神三獣々帯鏡（レプリカ）	径22.1cm	1	伊万里市二里町奎路寺古墳出土

#### ② 歴史資料

資料名	規格	数量	備考
倭寇図巻（複製）	31.9×521.5	1	カラープリント、卷子
谷口藍田筆「潜魚云々七絶三行書」	174.0×93.5	1	紙本墨書、掛軸装
小笠原長行筆 「譚山林云々七絶二行書」	108.2×28.1	1	紙本墨書、掛軸装
小笠原長行筆「勝敗云々七絶二行書」	131.5×28.8	1	紙本墨書、掛軸装
精煉方銘入壺	全高40.0口径11.0 胴高35.8	1	白磁、銘染付
初代忠吉作短刀	全長36.2拵52.5 長さ25.4	1	(銘)「忠廣」拵、拵付

#### ③ 美術資料

資料名	作者	数量	形状、規格（Hは高さ）
女の顔	岡田三郎助	1	油彩・カンヴァス 35.0×27.0
小代為重像	黒田清輝	1	” 25.3×18.0
霞葬画三愛図	古川松根	1	絹本着色、掛幅装 129.5×50.0
夏の朝（フランス風景）	高木背水	1	油彩、カンヴァス 97.0×129.5
練馬風景	”	1	” 116.5×80.4
滞船	松本弘二	1	” 130.3×162.1
摩利支天像図	三浦子璣	1	紙本着色、掛幅装 96.5×32.7
秋景山水図	長谷川雪巨	1	紙本着色、掛幅装 134.2×43.4
富嶽図	温古斎	1	紙本水墨、掛幅装 63.0×60.5
六歌仙屏風	古川松根	1隻	紙本着色、屏風装 96.0×31.0（一扇）
二つの道	古賀忠雄	1	ブロンズ H 195.0
工場の老夜警夫	”	1	” H 197.0
呆心	”	1	” H 187.0
時間を待つ	”	1	” H 125.0

伸びる	古賀忠雄	1	ブロンズ	H	107.0
流れに立つ	〃	1	〃	H	42.0
のどか	〃	1	〃	H	16.0
想	〃	1	〃	H	60.0
春 雲	〃	1	〃	H	117.0
春 日	〃	1	〃	H	88.0
寸 暇	〃	1	〃	H	51.0
崗 鶏	〃	1	〃	H	51.0
神童馬に乗る	〃	1	〃	H	26.0
二人の女	〃	1	〃	H	100.0
鶏舎の朝	〃	1	〃	H	172.0
農 夫	〃	1	〃	H	183.0
幻 想	〃	1	〃	H	204.0
草原を行く	〃	1	〃	H	65.0
街	山口猛彦	1	油彩・カンヴァス		112.2 × 145.2
ホワイトホール	中島快彦	1	アクリル		30.0 × 30.0

④ 民俗資料

資 料 名	規 格	数量	備 考
小川島鯨鯢合戦	24.0×17.5	1	和本(紙本著色)

昭和55年度寄贈資料

① 自然史資料

資 料 名	規 格	数量	備 考
南極の石	22×24×18cm 台付	1	佐賀郡久保田町出身(千葉市在住)寄贈 大島 保(碎氷鑑ふじ気象長)
アオバツク	全長25、翼長16、クチバシ長2cm	1 (メス)	55.10.4 博物館内採取 剥製、寄贈 三田川町 牧瀬 馨
イタチ	全長47、肩高9、尾長17cm	1 (メス)	佐賀市赤松町民家内採取 55.12.15 剥製 三田川町 牧瀬 馨、寄贈 佐賀市赤松町佐大通 嘉村三男

② 歴史資料

資 料 名	数量	規 格	寄 贈 者
翰苑卷第三十	1	卷子複製 27.4×1572	福岡県筑紫郡太宰府町 太宰府天満宮
蒙古襲来絵詞	2	2巻1組 宮内庁本複製 30.0×1777 30.0×1511	福岡県福岡市中央区天神1丁目7-23 福岡市教育委員会
錦絵 (佐賀花奥庭怪猫)		紙本木版著色 32.7×21.5	神戸市長田区上池田3丁目3-23 津村 昇
古川松根関係資料			東京都杉並区松ノ木3-25-12 古川綾子
(1)短刀	1	長さ28.6 銘「洛陽住信濃守国廣」	〃
(2)拜領急須	1	白磁、高7.1 口径5.2	〃
(3)塩入	1	石製、高3.1 長径7.6 短径5.1	〃
(4)三段重箱	1組	木製 18.0×18.1×19.8	〃
(5)笛	1	漆塗筒入 長40.0 口径2.0	〃

(6) 嘉永四年御参勤 御道中日記書抜	1	和綴36枚 17.8×8.2	東京都杉並区松ノ木3-25-12 古川綾子
(7) 管絃秘曲之譜	1	折本墨書 15.9×9.1	"
(8) 百日諄辞	1組	八行書 32.7×44.4 和歌 32.5×44.8	"
(9) 短冊	5	紙本墨書 36.5×6.0	"
(10) 国郡全図 (上・下)	1組	天保8年刊 28.5×20.0	"
(11) 草場碓助より古 川与一あて書簡	1	紙本墨書 16.2×36.5	"
(12) 和歌二首書 鍋島光茂 小倉女関係文書 野史	1	紙本墨書 18.0×30.0 34.0×624.8 11通張り合せ 卷子本	東京都武蔵市吉祥寺南町2-15-3 藤本 肇
明治年間教科書・ ノート類	8	和綴版本 20.4×13.7 帝国小史、読本、聖学本、 算術ノートなど	佐賀市内2-8-16 井手大一郎
戦時地図類	4	明治27年、昭和14年(2) 昭和16年版	"
2代忠広刀	1	長684 中心190 銘「肥前 国住近江大掾藤原忠広」	神奈川県逗子市久木1-7-8 吉川二城
古賀精里筆 「春池云々二行書」	1	紙本墨書 135.4×27.7	"

③ 美術資料 (古賀忠雄資料)

資 料 名	品 質	規 格 (高 さ)	備 考
朝	セッコウ	7.5	1926 (昭和1) 年
虫の楽隊	セッコウ	50.5 × 67.5	1926 (昭和1) 年頃
山 羊	セッコウ	22.8	昭和初年
親子馬	セッコウ	11.5	昭和初年
婦人の首	セッコウ	50.3	1928 (昭和3) 年
子守り	セッコウ	13.4	1928 (昭和3) 年
仏 心	セッコウ	199.8	1931 (昭和6) 年
裸婦立像	セッコウ	80.0	1932 (昭和7) 年
乳のみ児	セッコウ	59.5	1932 (昭和7) 年
読 書	セッコウ	14.3	1932 (昭和7) 年
編 物	セッコウ	25.8	1932 (昭和7) 年
笑 み	セッコウ	27.8	1932 (昭和7) 年
友	セッコウ	49.0	1932 (昭和7) 年
団 欒	セッコウ	9.2	1932 (昭和7) 年
仲良し	セッコウ	15.4	昭和初期
安 息	セッコウ	113.6	1932 (昭和7) 年
くつろぐ	セッコウ	145.0	1933 (昭和8) 年
想 う	セッコウ	20.5	1933 (昭和8) 年
暖	セッコウ	19.5	1933 (昭和8) 年
銀座ファッション	セッコウ	34.0	1933 (昭和8) 年
髪	セッコウ	30.5	1933 (昭和8) 年
少女の首	セッコウ	37.7	1934 (昭和9) 年

吾が児	セッコウ	30.8	1935 (昭和10) 年
裸婦坐像	セッコウ	136.8	1935 (昭和10) 年
タマ	セッコウ	13.5	1935 (昭和10) 年
一粒の種	セッコウ	31.1	1935 (昭和10) 年
寒	セッコウ	35.4	1935 (昭和10) 年
老人	セッコウ	29.2	1935 (昭和10) 年
うさぎ	セッコウ	8.6	1935 (昭和10) 年
泣く	セッコウ	8.2	1935 (昭和10) 年
農夫	セッコウ	183.0	1937 (昭和12) 年
半裸の労働者	セッコウ	42.8	1937 (昭和12) 年
炭鉱夫	セッコウ	45.2	1937 (昭和12) 年
銀座ファッション	セッコウ	21.0	1937 (昭和12) 年
山羊	セッコウ	48.2	1937 (昭和12) 年
明王像	セッコウ	30.8 × 29.0	1937 (昭和12) 年
工場の老夜警夫	セッコウ	197.0	1938 (昭和13) 年
帽子をかぶった男	セメント	39.6	1938 (昭和13) 年
童	セッコウ	25.7	1938 (昭和13) 年
和	セッコウ	48.1	1939 (昭和14) 年
聖者	ブロンズ	57.2	1939 (昭和14) 年
日だまり	セッコウ	8.2	1940 (昭和15) 年
猫	粘土	17.5	1940 (昭和15) 年
伸び	セッコウ	10.5	1941 (昭和16) 年
南国の人	セッコウ	31.0	1941 (昭和16) 年
空の神兵	セッコウ	193.5	1942 (昭和17) 年
空の神兵構想	セッコウ	25.8	1942 (昭和17) 年
伏して敵をうつ	セッコウ	17.4	昭和17・18年頃
うさぎ	セッコウ	10.9	1942 (昭和17) 年
ジャワ女神	セッコウ	13.9	1943 (昭和18) 年
ジャワ男神	セッコウ	13.7	1943 (昭和18) 年
鮭を持つ	セッコウ	33.0	1944 (昭和19) 年
山羊	セッコウ	24.7	1945 (昭和20) 年
駒	セッコウ	34.2	1946 (昭和21) 年
寸暇	セッコウ	51.0	1947 (昭和22) 年
坐す	セッコウ	23.3	1947 (昭和22) 年
ジャモ	紙 塑	50.3 × 94.3	1947 (昭和22) 年
人魚	紙 塑	25.0 × 24.1	1948 (昭和23) 年
サーカス	セッコウ	27.2	1948 (昭和23) 年

哀情	セッコウ	73.3	1948 (昭和23)年
練馬の男	ブロンズ	39.7	1948 (昭和23)年
哀情	セッコウ	102.0	1949 (昭和24)年
屈む	セッコウ	17.8	1949 (昭和24)年
足を組む	セッコウ	13.4	昭和20年代
姉妹	セッコウ	31.6	1949 (昭和24)年
黙行	セッコウ	276.5	1950 (昭和25)年
クリスチャン	セッコウ	47.7	1950 (昭和25)年
鯉	セメント	9.7	1950 (昭和25)年
ふくろう	セッコウ	16.8	1950 (昭和25)年
鶏舎の朝	セッコウ	172.0	1951 (昭和26)年
永遠の平和	セッコウ	121.0	1951 (昭和26)年
笑み	セッコウ	28.8	1951 (昭和26)年
トロフィー	セッコウ	39.0	1951 (昭和26)年
楽園	紙 塑	90.0 × 90.0	1951 (昭和26)年
親子	紙 塑	79.8 × 22.1	1951 (昭和26)年
知多の漁夫	セッコウ	190.5	1952 (昭和27)年
運動会	セッコウ	35.0	1952 (昭和27)年
膝で立つ裸婦	セッコウ	31.5	1952 (昭和27)年
めんどり	セッコウ	14.0	1952 (昭和27)年
男	セッコウ	187.5	1953 (昭和28)年
駒	セッコウ	18.5	1953 (昭和28)年
果温め	テラコッタ	15.8	1953 (昭和28)年
鮭	ブロンズ	111.4	1953 (昭和28)年
漁夫三想	セッコウ	193.5	1954 (昭和29)年
山を呼ぶ	セッコウ	190.0	1955 (昭和30)年
愛と平和の像	セッコウ	58.0	1956 (昭和31)年
伸びよ次代	セッコウ	166.4	1956 (昭和31)年
裸の男	セッコウ	77.5	1957 (昭和32)年
女	セッコウ	36.5	1957 (昭和32)年
シャモの男	セッコウ	187.0	1958 (昭和33)年
闘鶏	セッコウ	51.0	1958 (昭和33)年
闘鶏	セッコウ	23.4	1958 (昭和33)年
魚絵皿	陶 器	口径 31.3	1958 (昭和33)年
星牛の坐	セッコウ	216.8	1959 (昭和34)年
鶏	テラコッタ	12.0	1959 (昭和34)年
かんざし	ブロンズ	35.8	1959 (昭和34)年

呆 心	セッコウ	187.0	1960 (昭和35) 年
ほろほろ鳥	テラコッタ	27.0	1960 (昭和35) 年
魚形壺	テラコッタ	32.6	1960 (昭和35) 年
いきる	セッコウ	96.8	1961 (昭和36) 年
坐裸婦	セッコウ	27.4	1961 (昭和36) 年
収 穫	セッコウ	33.7	1961 (昭和36) 年
西洋婦人	セッコウ	83.7	1961 (昭和36) 年
鳩の詩 (うた)	セッコウ	42.8	1962 (昭和37) 年
理 想	セッコウ	87.7	1962 (昭和37) 年
幻 想	セッコウ	204.0	1963 (昭和38) 年
春 日	セッコウ	95.0	1963 (昭和38) 年
歩 む	セッコウ	35.4	1963 (昭和38) 年
春 雲	セッコウ	117.0	1963 (昭和38) 年
二人の女	セッコウ	100.0	1963 (昭和38) 年
春 日	セッコウ	88.0	1964 (昭和39) 年
子 供	セッコウ	69.8	1964 (昭和39) 年
限 界	セッコウ	219.5	1965 (昭和40) 年
眼 想	セッコウ	35.3	1965 (昭和40) 年
想	セッコウ	60.0	1965 (昭和40) 年
鶏	セッコウ	12.8	1965 (昭和40) 年
譜	セッコウ	146.5	1966 (昭和41) 年
戦没航空兵遺霊碑構想	粘 土	32.6	1966 (昭和41) 年
庄	セッコウ	201.0	1967 (昭和42) 年
語らい	セッコウ	140.0	1967 (昭和42) 年
太陽を知る男	セッコウ	190.5	1968 (昭和43) 年
暗 色	セッコウ	116.5	1968 (昭和43) 年
沼の幻想	セッコウ	112.7	1968 (昭和43) 年
思 い	ブロンズ	94.2	1968 (昭和43) 年
春を待つ	ブロンズ	122.6	1968 (昭和43) 年
伸びる	セッコウ	107.0	1968 (昭和43) 年
少 女	ブロンズ	53.2	1968 (昭和43) 年
松竹梅	陶 板	80.5 × 121.9	1968 (昭和43) 年
間	ブロンズ	100.3	1969 (昭和44) 年
和	セッコウ	59.7	1969 (昭和44) 年
春うらら	セッコウ	10.7	1969 (昭和44) 年
のどか	セッコウ	16.0	1969 (昭和44) 年
自然へ帰れ	セッコウ	188.8	1970 (昭和45) 年

小ねずみ	セッコウ	4.6	1970 (昭和45)年
バンビ	セッコウ	23.7	1970 (昭和45)年
聖牛	セッコウ	16.2	1970 (昭和45)年
バンジョー	セッコウ	37.7	1970 (昭和45)年
ポーズ	セッコウ	26.8	1970 (昭和45)年
仰ぐ	テラコッタ	54.6	1970 (昭和45)年
青い太陽	陶器	口径 62.1	1970 (昭和45)年
三人の女	陶器	口径 69.0	1970 (昭和45)年
草原を行く	セッコウ	65.0	1971 (昭和46)年
聖牛	セッコウ	28.5	1971 (昭和46)年
少女	セッコウ	25.0	1971 (昭和46)年
抱っこ	セッコウ	33.3	1971 (昭和46)年
西洋医学の伝授	セッコウ	173.4	1972 (昭和47)年
牧場の朝	ブロンズ	92.5	1972 (昭和47)年
オアシスを求めて	ブロンズ	42.7	1972 (昭和47)年
大皿	陶器	口径 50.0	1972 (昭和47)年
誕生	テラコッタ	31.8	1972 (昭和47)年
島の女	セッコウ	102.4	1973 (昭和48)年
団欒	ブロンズ	81.5	1973 (昭和48)年
愛と平和	セッコウ	40.8	1973 (昭和48)年
団欒	セッコウ	29.4	1973 (昭和48)年
時間を待つ	セッコウ	125.0	1974 (昭和49)年
頬杖をつく	ブロンズ	52.5	1974 (昭和49)年
草原を行く	セメント	21.8	1974 (昭和49)年
荷馬車	テラコッタ	20.0	1974 (昭和49)年
慈母春日	テラコッタ	31.2 × 37.0	1974 (昭和49)年
浴後	ブロンズ	102.5	1975 (昭和50)年
浴後	セッコウ	103.5	1975 (昭和50)年
練磨	ブロンズ	92.0	1975 (昭和50)年
神童馬に乗る	セッコウ	26.0	1975 (昭和50)年
流れに立つ	セッコウ	42.0	1975 (昭和50)年
喝	セッコウ	17.3	1975 (昭和50)年
猫と女	ブロンズ	72.5	1976 (昭和51)年
佐賀国体記念メダル	セッコウ	23.8 × 23.0	1976 (昭和51)年
佐賀国体記念メダル	セッコウ	径 30.0	1976 (昭和51)年
佐賀国体記念メダル	セッコウ	径 30.0	1976 (昭和51)年
吾が児	紙 塑	17.5 × 19.5	1976 (昭和51)年

語らい	紙 塑	17.8 × 19.5	1976 (昭和51) 年
育 つ	テラコッタ	34.2	1976 (昭和51) 年
飛 (とぶ)	ブロンズ	132.5	1977 (昭和52) 年
西郷隆盛	ブロンズ	56.3	1977 (昭和52) 年
鶏	テラコッタ	13.3	1978 (昭和53) 年
陽 春	粘 土	20.5	1978 (昭和53) 年
雲	テラコッタ	35.3	1978 (昭和53) 年
観音立像	粘 土	24.7	1978 (昭和53) 年
想 (部分)	セッコウ	47.0 × 107.0	1976 (昭和51) 年
男の首	セッコウ	49.7	
友人	セッコウ	24.0	
闘	セッコウ	14.8	
牧童 (部分)	セッコウ	34.0	
子 牛	セッコウ	13.4	
少 女	セッコウ	19.2	

関係資料 (絵日記、スケッチ帳等)

資 料 名	規 格	資 料 名	規 格
三 猿	31.6 × 40.8	スケッチ帳	28.9 × 20.5
絵日記 (花図)	19.0 × 13.4	スケッチ帳	26.6 × 19.3
植物写生帳	16.0 × 32.7	デッサン帳	12.7 × 18.0
絵日記	32.0 × 12.0	デッサン帳	12.7 × 18.0
絵日記	25.8 × 18.2	デッサン帳	14.5 × 20.5
スケッチ帳	12.3 × 18.2	デッサン帳	14.5 × 20.5
スケッチ帳	12.3 × 18.2	デッサン帳	37.1 × 29.9
スケッチ帳	12.3 × 18.2	デッサン帳	37.1 × 29.9
スケッチ帳	13.1 × 19.6	デッサン帳	35.9 × 29.0
画帳 (佐賀所見)	16.1 × 11.0	デッサン帳	13.0 × 17.9
画帳 (佐賀所見)	16.1 × 11.0	デッサン帳	17.8 × 24.5
画帳	8.7 × 8.0	デッサン帳	28.6 × 22.6
画帳 (日光道路)	12.0 × 9.0	デッサン帳	26.7 × 18.6
画帳	15.8 × 11.1	デッサン帳	37.0 × 26.3
画帳	11.8 × 8.8	デッサン帳	36.9 × 26.1
画帳	11.3 × 8.8	デッサン帳	42.0 × 32.5
画帳	12.1 × 8.9	デッサン帳	52.8 × 45.4
画帳	24.3 × 8.7	デッサン帳	26.5 × 18.7
画帳 (絵日記)	18.0 × 7.5	風景スケッチ	33 枚
スケッチ帳	30.9 × 21.7	さし絵のための素描	65 枚

さし絵のさめの素描	24枚	歌曲「森の幻想」	2冊
さしえのための素描	53枚	鱗粉転写帳	4冊
彫塑のための下絵	21枚		

以上の寄贈者

古賀 晟（東京都） 片野美代子（保谷市） 徳永 文子（京都市） 梁川美智子（東京都）

美術資料

資料名	作者	数量	規格	寄贈者
郭子儀	古川松根	1	131.8×80.7	逗子市 吉川二城
山叟云々五言絶句三行書	中林梧竹	1	249.5×60.2	〃
ジャウ女神像	古賀忠雄	1	H 14.0	〃
ジャウ男神像	〃	1	H 14.0	〃
副島種臣二行書	副島種臣	1	151.0×41.0	〃
若き日の小山内薫	岡田八千代	1	B 6判	神奈川県葉山町 石尾恵美子
朝	有馬さとえ	1	90.0×72.5	東京都 有馬さとえ顕彰会
若葉季節の記	〃	1	100.0×80.0	〃
かなな	宮地 亨	1	45.4×37.8	逗子市 吉川二城
ピアノの前（下絵）	立石春美	1	51.1×33.5	〃
矢がすりの娘（リトグラフ）	〃	1	35.2×40.1	東京都 日本フランコニー

④ 工芸資料

資料名	数量	規格	寄贈者
染付色絵沢瀉立鷹文変形皿	5	16.8×12.8 高3.3	神奈川県逗子市久木 1-7-8 吉川二城
染錦鳳凰桐図植木鉢	1	口径19.3 高18.3	〃
銅島小紋型紙	2	26.6×49.6 24.9×45.1	東京都葛飾区東新小岩 3-7-4 小宮康孝
翹葉紋付小袖	1	丈164.5 裾63.5	福岡市東区松崎 6 4 4-1 8 増田タケ
歌ガルト（百人一首）和歌書	200 37	6.5×4.6 26.0×18.0	〃
銅島段通唐草芍薬文	1	190.0×93.0	佐賀市内 2-8-2 6 井手大一郎
色絵唐子菊文油壺	1	胴径10.6 高7.2	神奈川県鎌倉市梶原 8 5 6-2 9 古賀 文

⑤ 民俗資料

資料名	数量	規格	寄贈者	備考
背美鯨陶製置物	1	長33.2 巾20.0 高13.0cm	和歌山県太地町立くじらの博物館	南紀・御浜窯製
鴨 銃	1	全長319.5 銃身長275.5 口径2.5	佐賀市水ヶ江 3 丁目 須古可賀	
（付、櫛杖）	1	長288.0 直径1.8~2.2cm		
ゴンクイオケ	1	通高29.5 桶高24.0cm	佐賀郡川副町犬井道 大坪和之	ゴミ揚げ作業用の杉桶
フナダマサン	1	縦6.9 横8.6 高22.8cm	佐賀郡川副町広江西 糸山敏郎	大盛丸（木船・5t 別称 チョコロ）のもの
番 傘	1	長77.3 傘径115.2cm	佐賀郡諸富町徳富 野口吉江	

昭和55年度 寄託資料

① 歴史資料

資 料 名	数量	規 格	備 考
源盛吉作槍	1	長さ 65.0 中心 60.2 白鞘付	(銘) 肥州神崎住小河兵部源盛吉作 八月日
二代忠広脇差	1	長さ 58.1 白鞘付	(銘) 近江大掾藤原忠廣
弘化元年南蛮船長崎入港図巻	1	37.2×342.4	紙本墨書 (10紙仮表装)
長崎表調練之絵図	1	152.0×78.5	扁額、紙本着色
火なわ式銃砲 (短銃)	1	全長 47.8 口径 1.3	(銘) 肥前住橋本新兵衛忠長
文化三年ロシア人渡来図	1	27.0×40.2	紙本着色 (捲り)
正保四年長崎警備図	1	39.4×52.9	紙本着色 (捲り)
文化元年ロシア船渡来図	1	39.0×79.5	紙本着色 (捲り)
砲 弾	4	高 15.4 14.0 24.7 37.0	椎実型
陣立朱印状	1	43.5×482.5	卷子、慶長2年2月21日
古賀精里筆宝歴云々19行書	1	44.8×91.5	掛軸装、絹本墨書、文化5年
加藤清正より成富十右衛門あて書状	1	17.0×49.5	扁額、紙本墨書、12月10日付
精煉方研究調書原本訳書	1組	(27.0~19.0)× (13.5~18.5)	① 9冊本② 8冊本③ 6冊本④ 2冊本 ⑤ 12冊本 (同一箱入)
銃砲製造記	4	24.5×16.0	築地大銃製造方、多布施御簀立方 (精煉方研究調書原本訳書と同一箱入)
鍋島家家紋付袴	1		鍋島小紋
精煉方関係佐賀ガラス	6組		金魚鉢1ランプ笠1長頸瓶1銘酒瓶1 栗瓶3密13
神ノ島・四郎島鎮海工事図	1	57.8×142.0	扁額、絹本着色
異変之節両家人数調練見取図	1	180.5×120.5	掛軸装、紙本着色
丸型砲弾	1	径 20.0	
椎実型砲弾	1	径 6.0 高 32.5	
観願荘図	1	61.8×134.5	箱付、卷子、紙本着色
半兵衛更紗	1	183.0×53.0	花籠図、掛軸装、綿地多色

② 美術資料

資 料 名	作 者 名	数量	規 格	備 考
龍虎人物図	相阿彌画、林羅山題詩	3	(各) 49.6× 31.4	紙本墨画
波谷基之助氏肖像	原田直次郎	1	48.6× 36.3	油彩・カンヴァス
高木背水自画像	高木背水	1	23.0× 14.9	鉛筆・紙
〃	〃	1	24.9× 18.6	鉛筆・コンテ・紙
木の間の道	〃	1	96.8×130.0	油彩・カンヴァス
風 景 (桜林)	〃	1	80.0×100.0	〃
風 景 (木立)	〃	1	85.4× 85.0	〃
静 物 (菊)	〃	1	60.5× 50.0	〃
静 物 (菊)	〃	1	60.5× 45.7	〃
風 景 (練馬)	〃	1	45.5× 60.5	〃
自画像偶	〃	1	60.5× 50.0	〃
練馬風景	〃	1	80.5× 65.0	〃
風 景	〃	1	45.8× 60.5	〃
風 景	〃	1	32.2× 41.0	〃

静物(りんご)	高木背水	1	(各) 31.8× 41.0	油彩・カンヴァス
鳳凰台(李白詩)	副島種臣	6	150.0× 60.3	屏風用仮表装軸
蜀相(杜甫詩)	"	6	"	"
富士山図	"	1	40.0× 75.0	掛幅装
江水云々10行書	"	1	149.0× 67.5	"
五月南薰云々3行書	"	1	138.0× 68.0	"
婦雲飛雨	"	1	45.5×138.0	扁額
銭別	"	1	27.0× 19.0	和綴本
歌稿	"	2	27.0× 20.5	" 帙入
草稿	"	1	29.0× 38.0	折本、帙入
詩稿	"	1	24.0× 13.5	和綴本
書簡(宮本大丞宛)	"	1	56.5× 64.2	巻紙、4枚貼合せ
書簡(神陽・南溟宛)	"	2	16.5× 54.0	
平井君墓誌銘	"	1	28.0× 85.5	拓本
高等小学修身教科書	"	2	25.0× 14.8	和綴、巻1欠
雲台図録	"	1	"	和綴本
味梅華館詩鈔	"	1	18.0× 11.0	"
副島種臣関係文書リール	"	5		
印章	"	21		
街	山口亮一	1	33.0× 23.5	油彩・カンヴァス
静物(花)	"	1	80.0× 60.5	"
静物(花)	"	1	29.8× 59.8	"
筑紫野	"	1	45.5×116.4	"
N氏像	"	1	45.5× 37.6	"
童女像	"	1	45.2× 37.9	油彩・厚紙
畑仕事	"	1	37.8× 45.5	油彩・カンヴァス
ライオンと格闘する男	百武兼行	1	198.7×160.3	"

### ③ 工芸資料

資 料 名	数量	規 格
青磁彫花文瓶	1	口径 3.6 高 20.4 底径 6.4
染付松梅文瓶	1	口径 5.6 高 21.6 底径 6.5
初期伊万里 染付雀図平皿	1	径 21.3 高 3.3 高台径 6.8
初期伊万里 染付波兔図平皿	1	径 20.7 高 2.6 高台径 8.5
染付花鳥図手付水注	1	高 29.6 底径 14.5
古伊万里 八角浮世絵美人壺	1	口径 14.5 高 34.3 底径 13.4
古伊万里 染付VOC平皿	1	径 36.1 高 5.2 高台径 18.0
染付芙蓉手花籠図皿	1	径 20.7 高 3.3 高台径 13.5
染付瓢箪図皿	1	径 16.6 高 3.1 高台径 9.6
染付粟にうずら図皿	1	径 20.8 高 3.9 高台径 11.3

#### 4. 昭和55年度購入及び寄贈図書

##### ① 購入図書

書名	発行所	書名	発行所
文化財虫菌害防除 ダイジェスト	文化財虫害研究所	古美術の科学	日本書籍株式会社
佐賀県の地名	平凡社	茶用と美	新潮社
大分県人物志	歴史図書社	民間信仰辞典	東京堂出版
芥子園畫傳 上・下	筑摩書房	日本の甲冑武具事典	柏書房
日本民俗学文献総目録	弘文堂	日本風俗史事典	弘文堂
日本民俗学辞典	名著普及会	日本民俗事典	〃
国史大辞典 第2巻	吉川弘文館	佐賀藩の総合研究	吉川弘文館
博物館の世界	中央公論社	唐宋元明名畫大観(特輯本)	成文出版社
建築画報 145	建築画報社	〃 (続足本)	〃
わたくし美術館	文化書房博文社	佛教大辞彙 1~7巻	富山房
産業文化史 鏝	クオリ	東京芸術大学蔵品図録	第一法規出版
鍬と農鍛冶	クオリ		

##### ② 寄贈図書

書名	寄贈者	書名	寄贈者
図録茶道史	淡交社	ふるさとの文化財	和歌山市教育委員会
杉の谷古墳・カケ塚古墳 埋蔵文化財調査報告書 第2・3集	筑紫野市教育委員会	チャレンジ アイディア工作	社団法人発明協会
杉塚廃寺 第4集	〃	岐阜県博物館調査研究報告 第1号	岐阜県博物館
埼玉県立博物館 展示解説 歴史Ⅱ	埼玉県立博物館	金沢文庫資料全書・仏典4巻 浄土編(一)	神奈川県立金沢文庫
埼玉県立博物館紀要 6	〃	直方市文化財調査報告第2集 内ヶ磯窯跡	直方市教育委員会
九州産業大学 芸術学部研究報告第11巻	九州産業大学	三川内・現川・長与三彩焼	長崎県立美術博物館
見附台遺跡出土品展	芸術学会	神代家とその一族	全国神代ゆかりの会
北海道所蔵簿書件名目録第2部	名古屋市見附台 考古資料館	歴史考古学 第4号	歴史考古学研究会
福岡市歴史資料館 研究報告第4集	北海道総務部 行政資料課	大悲王院文書	福岡市教育委員会
愛と心・古賀忠雄彫展	福岡市立歴史資料館	開館5周年のあゆみ	鉄斎美術館
書陵部紀要 第31号	東京都 古賀 晟	開館5周年記念展 鉄斎・東坡の世界	〃
曾於北・哈良地区有形 民俗資料調査報告書	宮内庁書陵部	聖光文庫図書目録	〃
探訪 堺ーその文化と半井家ー	鹿児島県明治百年 記念館建設調査室	石川県美術館所蔵品図録	石川県美術館
リトルワールド研究報告第4号	大阪市立博物館	宇土市史研究・創刊号	宇土市教育委員会
和歌山市文化財総合調査報告(2)	人間博物館 リトルワールド	資料図録 No.16	郵政省通信博物館
複製社会教育資料 (文化財調査記録)	和歌山市教育委員会	井上善教遺作展	島根県立博物館
〃 (埋蔵文化財調査報告)	〃	壬遺跡	国学院大学 考古学研究室

書名	寄贈者	書名	寄贈者
丹後国分寺一遺跡とその周辺一	京都府立丹後郷土資料館	山口県立山口博物館研究報告 第6号	山口県立山口博物館
石川日記 (二)	八王子市教育委員会	山口県の自然 第4巻 第10号	"
大阪府都市計画街路員塚中央線新設工事予定地内廢浜・岳中・石才近義堂遺跡試掘調査報告書	大阪文化財センター	生誕150年 狩野芳崖	山口県立美術館
浪漫衣裳展	京都国立近代美術館	橋牟礼川遺跡	鹿児島県教育庁 文化課
近代の日本画	熊本県立美術館	烏山調査区 西原道畑遺跡 他 西原迫遺跡	"
山口県埋蔵文化財調査報告 しらいし古墳群	山口県教育委員会	大隅地区埋蔵文化財分布調査概報	"
下右田遺跡	"	弓場ヶ尾地区葦輪遺跡・柳遺跡	"
末原窯跡	"	瀬戸内の海事史資料調査報告	瀬戸内海歴史民俗資料館
萩焼古窯	"	鳥取県の自然と歴史 砂丘とその周辺	鳥取県立博物館
栃木県の稲作習俗	栃木県立郷土資料館	貝類資料目録 (3)	"
西村龍介展	フジキ画廊	化石資料目録 (5)	"
浜遺跡	大分県教育委員会	郷土と博物館	"
宇佐市・川部・高森地区遺跡緊急発掘調査概報 (Ⅲ)	"	鳥取県立博物館研究報告17号	"
岩戸遺跡発掘調査概報	大分県清川村教育委員会	研究紀要 第1集～第3集	佐賀県教育センター
吹上遺跡	日田市教育委員会	教育実践・研究記録集	"
萩台地の遺跡	大分県萩町教育委員会	学習日本史図鑑 1	講談社
伏株山城跡緊急発掘調査概報 I	大分県玖珠町教育委員会	大むかしの人のくらし	"
宝暦治水と薩摩藩	岐阜県博物館	戦いにあけくれた時代 日韓文化交流展 (図録)	大阪市立博物館
昭和54年度新収蔵品展	北九州市立美術館	自然保護教育の現状と問題点・研究報告	国立科学博物館 附属自然教育園
近代イタリア美術と日本	国立国際美術館	自然教育園の自然観察会	"
北海道開拓写真展	佐賀市 柿久 勇	Sculptures et Peintures L'Asie Centrale	D U MUSEE GUIMET
大宰府史跡	九州歴史資料館	L'Art Gapnais a Trauers Les Siecles Paris 1958	"
般若寺跡	"	Arts De La Chine Ancienne	"
芝居版画等図録 II	国立劇場	Gravures et conquetes de L'Empereur de chine	"
成瀬三叉遺跡	町田市立博物館	K'ien-Long au musee guimet	"
市立旭川郷土博物館 所蔵品目録Ⅳ	市立旭川郷土博物館	La Sculpture Indqueienne Au Musee Guinet	"
日本洋画シリーズ展 I	中日新聞社	四之宮下ノ郷調査概報	平塚市 大野遺跡調査団 小島弘義
近代洋画の先駆者たち 原色現代日本の美術 14工芸	小学館	慈雲山福聚寺所蔵品目録	久留米市教育委員会
岡山理科大学紀要	岡山理科大学	筑後国府跡	"
神奈川県埋蔵文化財調査報告19	神奈川県教育委員会	筑後国分寺跡 (Ⅱ)	"
日本民俗地図Ⅶ	文化庁	東部土地区画整理事業関係埋蔵文化財調査概要	"
特別展・国分寺	奈良国立博物館	横須賀市博物館研究報告第23号	横須賀市博物館
太陽6・親と子の博物館 200	平凡社	秋田県立博物館研究報告第5号	秋田県立博物館
		収蔵資料目録一歴史 I -	"

書名	寄贈者	書名	寄贈者
佐賀の漁港	佐賀県	大平山元Ⅱ遺跡発掘調査報告書	青森県立郷土館
諫早史談 第12号	諫早史談会	“	“
長崎県埋蔵文化財調査集報	長崎県教育委員会	“	“
金石城跡緊急発掘調査報告書	“	図版編 国立博物館古蹟調査報告第11冊	国立中央博物館
史跡原山支石墓群保存管理計画	“	松菊里Ⅰ・本文・図版	耶馬溪風物館
里田原遺跡	“	耶馬溪文庫蔵書目録	群馬県立歴史博物館
原の辻遺跡	“	(和漢古典部)	“
いさはや	“	群馬県立歴史博物館紀要第1号	群馬県立歴史博物館
福江市埋蔵文化財調査報告書	福江市教育委員会	神奈川県立博物館	神奈川県立博物館
第1・2集	諫早市教育委員会	発掘調査報告書第12号	“
風観岳支石墓群調査報告	“	近代絵画資料目録	“
嬉野町史(下巻)	嬉野町	大宰府史跡	九州歴史資料館
八幡山古墳石室復原報告書	埼玉県立	般若寺跡	“
津山における心学史料・下	さきたま資料館	三雲遺跡	福岡県教育委員会
小矢部市埋蔵文化財分布	富山大学人文学部	春日御供田区画整理事業地内	“
調査概報	考古学研究室	埋蔵文化財調査報告	“
北海道現代美術展	北海道立近代美術館	羽根戸古墳群	“
かく・ぬる	“	松ヶ追遺跡	“
あそびのやきもの国際展	“	石丸遺跡	“
北九州市自然史博物館研究報告	北九州市自然史	堂の前遺跡	“
第2号	博物館開設準備室	久戸古墳群Ⅱ	“
群馬県立歴史博物館	群馬県立歴史博物館	今光遺跡・地余遺跡	“
常設展示解説	“	福岡南バイパス関係埋蔵文化財	“
群馬のはにわ	“	調査報告第9集	“
群馬の古鏡	“	須玖・岡本遺跡	“
刀剣展	“	二丈・浜玉道路関係埋蔵文化財	“
稲荷森古墳	山形県立博物館	調査報告	“
わたしたちの自然史第2～6号	北九州市自然史	若宮宮口工業団地関係埋蔵文化	“
茶岡原遺跡	博物館開設準備室	財調査報告 第2集・第3集	“
学叢 創刊号・第2号	多久市教育委員会	伊場遺跡遺物編2別冊図版	浜松市博物館
倉敷考古館研究集報 第15号	京都国立博物館	白浜貝塚	福江市教育委員会
東京都の自然	東京都高尾	神奈川自然誌資料	神奈川県立博物館
長崎県立美術博物館	自然科学博物館	北海道開拓記念館調査報告	北海道開拓記念館
収蔵資料目録4	長崎県立美術博物館	北海道の伝統的生産技術	“
巨匠シャガール展(図録)	大分県立芸術会館	科学博物館への招待	東海大学出版会
鹿児島市立美術館所蔵品図録	鹿児島市立美術館	愛媛の自然 第4～7号	愛媛自然科学教室
(洋画)	“	神戸市立南蛮美術館図録	神戸市立南蛮美術館
鷺沢・有畑・浜田の民族	青森県立郷土館	第1～5巻	“
よみがえる奈良・平安時代の	“	浦和市立郷土博物館	浦和市立郷土博物館
青森	“	研究調査報告書 第7集	“
		極北の世界からフィンランド画家	フィンランド大使館
		R・サレストニエミ展(図録)	“
		東京国立博物館紀要 第15号	東京国立博物館
		佐賀県民俗地図	佐賀県教育委員会

書名	寄贈者	書名	寄贈者
長谷川潔展(図録)	京都国立近代美術館	富山市科学文化センター	富山市
伝統と現代・日本の型染	東京国立近代美術館	研究報告No.2	科学文化センター
日本発見 名城	暁教育図書株式会社	大分の近世美術(書・画)	大分県立芸術会館
国立民族学博物館研究報告	国立民族学博物館	所在調査報告書	大阪書籍
4巻3・4号		中学社会	熊本県文化懇話会
木 綿 原	読谷村立	創立25周年記念世代展(図録)	北海道開拓記念館
城・下原遺跡	歴史民俗資料館	北の職人 展示資料目録	中里太郎右衛門
美術史学 第2号	山鹿市立博物館	店津焼(図録)	上峰村教育委員会
研究紀要 54年度	東北大学	屋形原遺跡	北茂安町教育委員会
伊良湖でやかれた東大寺瓦展	美学美術史研究室	宝満谷遺跡	中原町教育委員会
(図録)	宮崎県総合博物館	姫方原遺跡BC地点・E地区	佐賀県教育委員会
竹崎観世音修正会鬼祭	伊良湖	佐賀県遺跡地図(佐城地区)	"
'80年会展	自然科学博物館	佐賀県遺跡地図(三神地区)	"
松永記念館図録	太良町教育委員会	九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書(1)大門西遺跡	"
児島善三郎資料集(一)	サエグサ画廊	九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書(2)長尾・大門西・六本木・木立・開拓・西原・綾部城址	"
東洋の心・田崎広助	福岡市美術館協会	柏崎遺跡群	"
辻田遺跡調査報告書	"	下中杖遺跡	"
馬場山遺跡調査報告書	北九州市	尾崎利田遺跡	"
茶屋原遺跡	教育文化事業団	袴田遺跡	三日月町教育委員会
紅梅(A)遺跡	"	霊仙寺跡	東背振村教育委員会
長野(D)遺跡	"	小路遺跡	芦刈町教育委員会
白岩遺跡調査報告書	"	夏期特別展図録	平塚市博物館
勝岡(B)遺跡調査報告書	"	街の生きものたち	講談社
志徳遺跡調査報告書	"	茶の庭	岡山理科大学
高蔵小学校遺跡調査報告書	"	蒜山研究所研究報告	湘南砂丘遺跡研究会
熊野喜蔵氏資料目録Ⅱ	北海道開拓記念館	四の宮下ノ郷	鹿兒島民具学会
資料館紀要 第8号	京都府立総合資料館	鹿兒島民具 創刊号	松原市教育委員会
チベットの絵画	板橋区立美術館	松原市埋蔵文化財発掘調査報告	国立科学博物館
平城京左京三条四坊七坪	奈良国立	第1輯 三宅遺跡	"
発掘調査概報	文化財研究所	国立科学博物館所蔵	"
鉄斎研究 第49号~第53号	文化財研究所	逐次刊行物目録	"
学術雑誌目録 欧文編・和文編	国立民族学博物館	国立科学博物館須田文庫目録	武雄市教育委員会
邪馬台国への道(図録)	朝日新聞社	矢の浦遺跡	春日市教育委員会
大村市立史料館所蔵史料目録	大村市立史料館	赤井手遺跡	"
百濟研究	忠南大学校百濟	須玖・岡本遺跡	山口県立博物館
大野原の遺跡	研究所	維新の先覚 吉田松陰	京都国立博物館
	大野町教育委員会	京都社寺調査報告Ⅰ	佐賀県立図書館
		だれにでもできる楽しい色鉛筆画	

書名	寄贈者	書名	寄贈者
竹田	広島県府中町 沢田 章	愛媛県立博物館資料総合目録 第3集 考古資料	愛媛県立博物館
福岡県歴史資料調査報告第4集 龍起山勝福寺所蔵品目録	福岡県文化会館	"	"
" 第5集	"	第4集 民俗文化財 奈良国立文化財研究所基準資料 VII 瓦編7	奈良国立 文化財研究所
海晏山興徳寺所蔵品目録	"	馬毛島埋葬址	熊本大学文学部 考古学研究室
" 第6集	"	タチバナ遺跡 (2)	"
神護山光明寺所蔵品目録	"	東北歴史資料館研究紀要第6巻	東北歴史資料館
" 第7集	"	香川町・船岡山古墳調査報告	香川県教育委員会
瑞松山円覚寺所蔵品目録	"	高松市・山下古墳調査報告	"
" 第8集	"	仁尾町・南草木遺跡調査報告	"
見湖山徳門寺所蔵品目録	"	一般国道32号綾南バイパス建設 工事に伴う埋蔵文化財発掘調査 報告・西村遺跡	"
" 第9集	"	瀬戸大橋建設に伴う 埋蔵文化財調査概報(Ⅲ)	"
戒壇院所蔵品目録	"	ミケランジェロの ヴァティカン壁面 館蔵品目録〔1〕	西武美術館
" 第10集	"	研究報告 2	"
万松山承天寺塔頭末寺所蔵品目録	沖縄県立博物館	郵政考古紀要	大阪郵政考古学会
沖縄県立博物館紀要 第6号	"	新発見の考古資料・ 発掘された古代の水田	群馬県立歴史博物館
県立博物館総合調査報告書Ⅰ 粟国島	"	秋月藩政関係史料調査報告	甘木市教育委員会
特別展 琉球のシダ植物	"	秋月城下町伝統的建造物群 保存対策調査計画報告書	"
知床博物館研究報告 第2集	斜理町立知床博物館	大野城市文化財調査報告書 第4集・牛頸中道遺跡群	大野城市教育委員会
斜理海岸の植物 第2集	"	昭和54年度産業技術における広 報・情報提供システムの調査研究 研究論文集第28集第1号Ⅰ・Ⅱ	日本科学技術振興 財団科学技術館 佐賀大学教育学部
原色現代日本の美術10 現代の洋画	小学館	宮ノ本遺跡・太宰府町の文化財 第3集	太宰府町教育委員会
広瀬の民俗	厳木町教育委員会	山口正城作品展 図録	福岡市美術館
龍谷史壇 第76号	龍谷大学	松江考古 第3号	松江考古学 談話会事務局
但馬・大藪古墳群	"	石川日記 (一)	八王子市郷土資料館
摂津万籟山古墳	"	金谷洞栗里貝塚 -岩蔭住居遺蹟-	釜山大学校博物館
宝塚市雲雀山古墳群	"	九州歴史資料館研究論集 6	九州歴史資料館
三条岡山遺跡	"	福岡市埋蔵文化財調査報告書第 52集 県道大野・二丈線埋蔵 文化財調査報告 (1)	福岡市教育委員会
大野藩等旧蔵図書目録	福井県立 大野高等学校	" 第53集	"
伊藤慎蔵と大野藩	"	多々良込田遺跡 Ⅱ	"
伊藤慎蔵識「築城全書」の概要	"	下和白塚原古墳群	"
二科十朗作品集	にしな会	" 第57集	"
現代ガラスの美	京都国立近代美術館	板付周辺遺跡調査報告 (6)	"
前原町文化財調査報告書第1集 坂元古墳群	前原町教育委員会	" 第59集	"
" 第2集	"	筑前国福岡城三の丸御鷹屋敷 第60集	"
" 正恵古墳群	"	千里シビナ遺跡発掘調査概報	"
" 第3集	"		
上鍾子遺跡群	"		
日本美術年鑑 1978	東京国立 文化財研究所		
名古屋市守山区小幡・小幡古墳 発掘調査報告書	江南市役所		
第11回東レ理科教育賞 受賞作品集・昭和54年度	宮地邦男 東レ科学振興会		
茨城県立美術博物館要覧	茨城県立美術博物館		
愛媛県立博物館 自然科学普及シリーズⅠ	愛媛県立博物館		

書名	寄贈者	書名	寄贈者
福岡市埋蔵文化財調査報告書 第61集 下月隈宮ノ後遺跡	福岡市教育委員会	淡交	淡交社
九州縦貫自動車道埋蔵文化財調査報告 IV 石峰遺跡	鹿児島県教育委員会	世界陶磁全集 7	小学館
徳島県博物館紀要 第11集	徳島県博物館	麦の芽	麦の芽短歌会
仲島遺跡 I	大野城市教育委員会	岸田劉生展	東京国立近代美術館
牛頸平田窯跡 D地点	〃	ヨーロッパのポスター	〃
大野城市の文化財	〃	第11回東京国際版画 ビエンナーレ展	〃
三木峠北窯調査報告書 (遺物写真編)	兵庫県教育委員会	ブリジット・ライリー展	〃
犬塚古墳群発掘調査報告書	広島大学文学部 考古学研究室	ドローネー展	〃
森田沙伊展 図録	北海道立近代美術館	近代日本の漆芸	〃
国立民族学博物館国内資料 調査委員調査報告集 I	国立民族学博物館	山口長男・堀内正和展	〃
ゆたかな海への発想 港の科学	日本海事広報協会	近代日本の色絵磁器	〃
宇宙科学博覧会公式記録	宇宙科学博覧会協会	世界現代工芸展 スキャンディナヴィアの工芸	〃
宇土城主小西行長公	宇土市教育委員会	日本城郭大系17 長崎・佐賀	創史社
理科教育研究集録 No15	佐賀県理科教育 センター	福岡市西区四箇周辺遺跡調査報告書 (3) 夫婦塚古墳 吉武塚原古墳群	福岡市教育委員会
上土幌町ひがし大雪博物館 研究報告 第5号	ひがし大雪博物館	福岡市西区徳永アラタ古墳群	〃
東大寺展 図録	福岡市	有田・小田部 第1集	〃
宝剣山古墳	佐伯市教育委員会	第6回企画展「円空」図録	群馬県立歴史博物館
世界の更紗	紫紅社	九州のやきもの展	島根県立博物館
馬の博物館所蔵品展 図録	財団法人 馬事文化財団	ソ連科学アカデミー 恐竜展	沖縄県立博物館
はがくれの旅	佐賀観光協会	特別展 中世の陶器	愛知県陶磁資料館
型と版染鈴田照次作品集	鹿島市 鈴田照次	原色現代日本の美術18 明日の美術	小学館
小林渠居人遺作展	茨城県立美術博物館	特別展 吉備の古代瓦	岡山市立 オリエント美術館
青山史学 第5号・第6号	青山学院大学文学部 史学科研究室	特別展 日本のあけぼの	山口県立博物館
第10回永青文庫展 大名の暮らしの美	熊本県立美術館	昭和55年度秋季展 —銅鑼と銅矛・銅剣—	辰馬考古資料館
小林和作の世界	山口県立美術館	美術資料 第26号・第27号	国立中央博物館
神埼町文化財調査報告書 利田柳遺跡Ⅲ区	神埼町教育委員会	正倉院展目録	奈良国立博物館
翰苑	太宰府天満宮 文化研究所	古賀孝著「考古日録」	鎌倉市 古賀文
博物館の運営実態	日本博物館協会	佐賀県立図書館所蔵 鍋島家文庫目録 郷土資料編	佐賀県立図書館
平櫛田中秀作展 図録	福山市立福山城 博物館	図説 日本文化の歴史10 江戸(下)	小学館
金澤文庫研究 第262号 第263号 第264号	神奈川県立金澤文庫	日本の洋画家による瀟散作展	北九州市立美術館
1980年刊美術家名鑑 78 79 現代の日本美術 80	美術倶楽部出版部	瑛九展	宮崎県総合博物館
名取の里 図録	東北歴史資料館	千葉県立上総博物館収蔵 資料目録 (1)	千葉県立上総博物館

書名	寄贈者	書名	寄贈者
千葉県立上総博物館 研究員紀要 第2集	千葉県立上総博物館	再興第64回院展全作品集	日本美術院
多摩ニュータウン遺跡調査報告書	東京都埋蔵文化財 センター	第35回春の院展全作品集	"
多摩ニュータウン遺跡調査概報 昭和54年度	"	再興第65回院展全作品集	"
日本古代の鷗尾	奈良国立文化財 研究所	美術研究 第309号~第314号	東京国立文化財 研究所
日本の心 邪馬台国幻想	集英社	紀要 Vol 6	嵯峨美術短期大学
三田川町史	三田川町	スペイン美術図録	長崎県立美術博物館
藤島武二・岡田三郎助展	西宮市大谷記念 美術館	世界の鳥の和名 V —北アメリカの鳥—	山階鳥類研究所
銅 鐸	辰馬考古資料館	" XIV —中央アメリカの鳥—	"
愛媛の自然 第8号~第12号	愛媛県立博物館	ルオーの「ミセレーレ」	北九州市立美術館
万松山承天寺所蔵品目録	福岡県文化会館	徳島の先覚者展図録	徳島県博物館
安国山聖福寺所蔵品目録	"	イタリア・ルネサンス美術展	京都国立近代美術館
天目山幻住庵所蔵品目録	"	横山大観勅題画展	永宵文庫
大久保遺跡	鳥栖市教育委員会	高橋 秀 図録	東京画廊
柚比遺跡群範囲確認調査 第3年次概要報告書	"	第7回企画展上州人形芝居	群馬県立歴史博物館
新農業構造改善事業関係 埋蔵文化財確認調査報告書	"	伊達家関係資料目録	伊達市教育委員会
沖繩の民具	沖繩県立博物館 上江洲 均	伊達家文庫目録	"
下裨田遺跡調査概報 I	行橋市教育委員会	佐賀の植物	佐賀植物友の会
椿市庵寺	"	東京国立博物館図版目録 古墳遺物編 (関東I)	東京国立博物館
近代洋画の人間像	山口県立美術館	名取新宮寺一切経調査報告書	東北歴史資料館
埼玉県立民俗文化センター 展示案内	埼玉県立民俗文化 センター	心光—江里宗平作品集—	京都市 江里康則
安土桃山時代の文化	滋賀県立 琵琶湖文化館	近代日本画八十二選集	足立美術館
十津川郷の丸田家文書の報告	日本民家集落博物館	第4回北海道現代美術展	北海道立近代美術館
現代版画の一断面	東京都美術館	子どもと親の美術館 '81 くみたる	"
埼玉・稲荷山古墳	埼玉県立 さきたま資料館	群馬県立近代美術館所蔵品目録 —洋画・彫刻—	群馬県立近代美術館
絵画のオール・ヌーボー	国立国際美術館	佐賀県文学賞入賞作品集 1980-18	佐賀県文化課
展示解説	奈良県立橿原考古学 研究所附属博物館	奈良国立文化財研究所年報奈良 国立文化財研究所編1958~1969	同朋舎出版
日本やきもの集成 11	平凡社	日動五十年史	日動画廊
吉備の国宝・重要文化財	岡山県立博物館	研究論文集 第28集第2号 (I) (II)	佐賀大学教育学部
国立民族学博物館研究報告 5巻1・2・3号	国立民族学博物館	草場珮川日記 上巻・下巻	鍋島報効会
佐賀東高紀要 17	佐賀高等学校	特別展 日向のやきもの	宮崎県総合博物館
MOUSEION 立教大学博物館研究 美術名典	立教大学 芸術新聞社	根岸競馬記念公苑所蔵図書目録	馬事文化財団
おんな太閤記	日本放送出版協会	BOTANY No.30	熊本記念植物採集会
		江戸前期の色絵磁器展 図録	板橋区立美術館

書名	寄贈者	書名	寄贈者
読谷村民話資料集 2 喜名の民話	読谷村立歴史民俗資料館	佐賀県史料集成・古文書編 第21巻	佐賀県立図書館
文化財の虫菌害 創刊号	文化財虫害研究所	茨城の美術史 明治・大正・昭和	茨城県立美術博物館
アイヌ文化 第6号	アイヌ無形文化伝承保存会	安藤義茂展	北九州市立美術館
大分県上下田遺跡 発掘調査報告書	別府大学附属博物館	浮世絵版画展	〃
国立博物館古蹟調査報告第12冊 中島 進展報告 I	国立中央博物館	第2回北九州市洋画展	〃
高麗仏画	朝日新聞社	ヴォルス展	〃
佐賀市史	佐賀市	ジャポニスムとアール・ヌーボー	〃
原色図解大事典6 日本の歴史	小学館	山口長男展	〃
「宗像」20年の歩み	宗像大社広報課	萬鐵五郎水彩画作品集	岩手県立博物館
旅	日本交通公社	西弥護免遺跡調査概報	阿蘇実験考古学研究所
青森県シダ植物集覧	青森県立郷土館	さかの冠婚葬祭	豊増幸子
愛媛の自然 第1号～第3号	愛媛自然科学教室	明日への造形 九州第1回展図録	福岡市美術館
馬	大和運輸福岡支店	紀要 第3巻	九州造形短期大学
愛と心 古賀忠雄彫塑展	〃	NHK年鑑 '80	NHK佐賀放送局
伊東深水展	〃		
大観・玉堂・籠子三巨匠展	〃		
日本の洋画にみる回想の裸婦 現代のソード	〃		
マントンからサン・トロペ 南仏美術館めぐり展	〃		
日本の肖像名作展	〃		
宮本三郎遺作展	〃		
イタリア印象派展	〃		
ルドン版画展	〃		
エッシャー展	〃		
有田古陶磁と元録風俗図展	〃		
画業60年記念 宇田萩郵展	〃		
八木一夫展	京都国立近代美術館		
片山遺跡・B地点発掘調査概報	和歌山県教育委員会		
和歌山鳴神所在鳴神地区 遺跡発掘調査概報	〃		
山崎山古墳群緊急発掘調査 報告書	〃		
紀の川用水建設事業に伴う 発掘調査報告書 II	〃		
根来寺坊院跡発掘調査概報 II	〃		
〃 III	〃		
地図にみる京都の歴史	京都の歴史編さん会議		

## 茶室「清恵庵」の管理と運営の概況

茶室「清恵庵」は昭和48年10月郷土出身の実業家故市村清氏のご遺志により、同夫人幸恵氏より本県に寄贈されたもので、今年で8年目を迎える。利用の傾向としては普及が広く一般に滲透し、県内、県外の茶道各流派のグループによる利用や、各種団体による茶会など幅広く利用された。

### 1. 茶室の規模および施設

設計者 堀口捨己 東京都太田区山王4-6-5

早川正夫 東京都港区南青山5-9-12 アイザワビル

構造 木造平家建寄棟造り

規模 床面積 57.35㎡

### 2. 茶室の利用状況

茶室「清恵庵」の利用については、8年目に入り、県内はもとより県外にも広く周知され、好評を得ている。今年度は各流の茶道グループ、婦人学級、青年団、学校などの団体あるいは、茶道愛好会など、利用者の幅もさらに広まり、社会教育の一環として広く利用された。

月別にみた利用状況は下表のとおりである。

茶室利用状況調

55 年 度			
月	利用団体数	利用者数	見学者数
4	4	73	4
5	4	141	67
6	2	18	11
7	2	23	0
8	2	29	6
9	1	18	4
10	0	0	60
11	2	21	47
12	1	16	0
1	3	97	40
2	1	5	30
3	1	10	53
計	23	451	322

### 3. 茶道具備品

(1) 昭和55年度末の概況は次のとおりである。191点。

掛物（淡々斎宗室、希斎宗有、大徳寺桃林の書、村瀬玄妙の書、売茶翁の二行書、千宗佐、千代尼）

花入（胡銅、朝鮮店津「中里重利作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、大川

内焼青磁「小笠原巖作」、備前焼、竹花入「生野祥雲斎作」、竹一重切花入「宗陵作」、有馬千鳥籠花入、有馬ひさご籠花入「昭竹斎作」、青磁鶴首花入「小笠原巖作」)

香合・香炉(12代今泉今右衛門作、井上万二作、宗祥作、黒牟田焼「丸田正美作」、菊花書詰蒔絵卵香合「助市作」・13代今泉今右衛門作、「源右衛門作」)

茶碗(唐津奥高麗「中里無庵作」、絵唐津・唐津刷毛目「13代中里太郎右衛門作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、大川内焼青磁「小笠原巖作」、青磁「中島宏作」、唐津井戸・唐津皮鯨茶碗「中里重利作」、白磁茶碗「初代忠右衛門作」、黒楽茶碗「小川長楽作」、志野茶碗「荒川豊蔵作」、支那焼「千漢鳳」、高麗斗々屋「千漢鳳」)

水指(信楽焼「高橋楽斎作」、朝鮮唐津「中里重利作」、小山路焼「江口勝美作」、染付「12代今泉今右衛門作、高麗「千漢鳳作」)

薄茶器(沈金棗「安村稔作」)

濃茶器(13代酒田柿右衛門作)

茶杓(宗泰作)

風炉(利休面取風炉、切合唐銅風炉、合金面取風炉、鬼面共耳風炉)

釜(切合釜・竹紋繰口釜「松寿作」、筋入炉釜、菊桐地紋炉釜、雲竜釜「高橋敬典作」、尻張釜「高橋敬典作」、鬼面共耳風炉釜「横山嘉山作」)

棚(竹台子、桐丸卓、桑小卓、真塗長板)

火入(染付「12代今泉今右衛門作」)

菓子器(唐津焼「13代太郎右衛門作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、青磁「中島宏作」、現川焼)

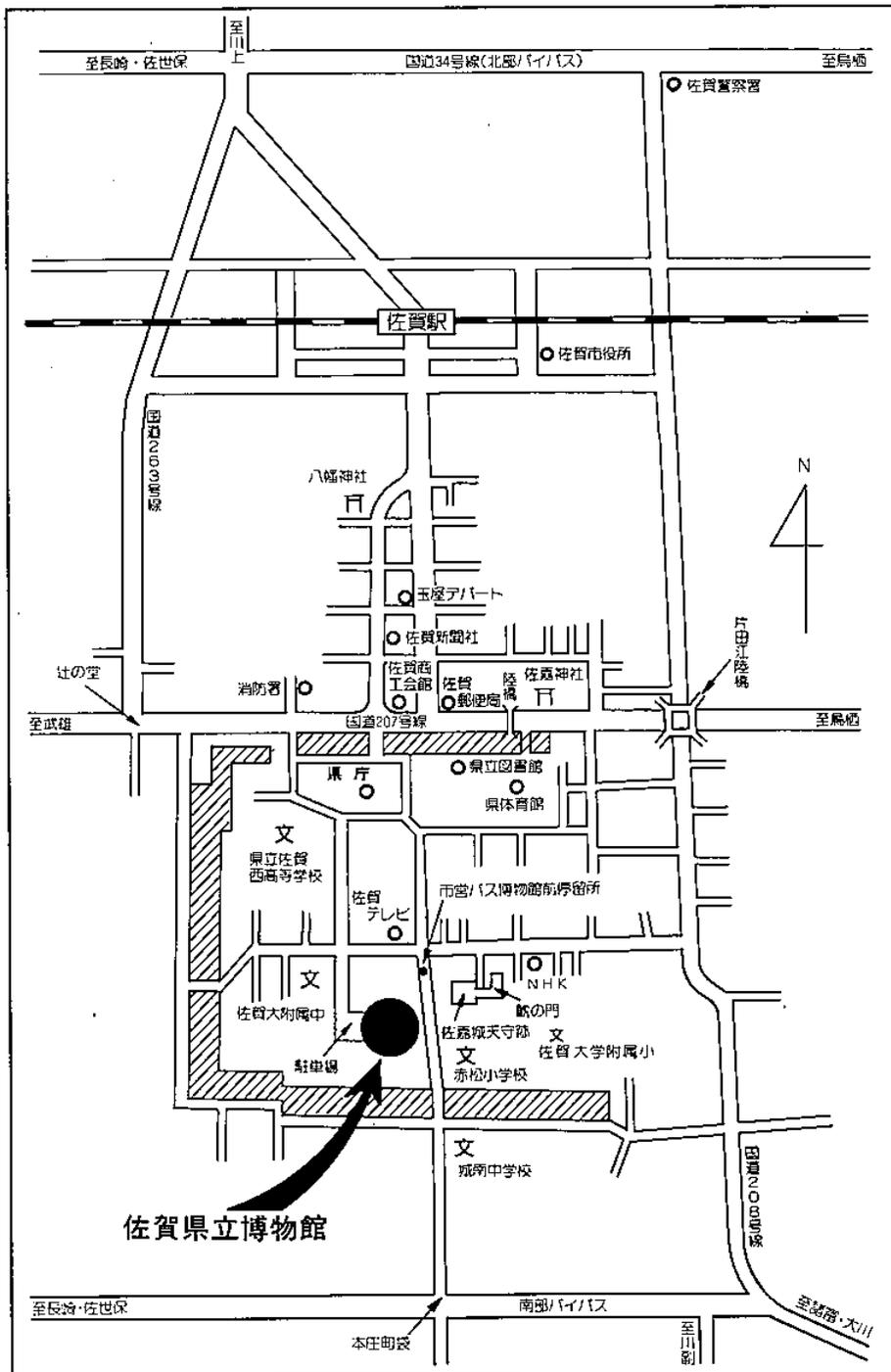
建水(不審庵伝来写「11代中川浄益作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、唐銅)

風炉先屏風(秋草蒔絵)

炉縁(高台寺蒔絵「柴田利雄作」)

曲湯桶、置炉、瓶掛、蒔繪塗四方盆、茶托と蓋、茶碾、茶壺

# 案内図



◎ 交通機関

佐賀駅から市営バス博物館前下車  
各バス（昭和、祐徳、市営）で県庁前下車

佐賀県立博物館年報 第11号

発行年月日 昭和56年6月20日

編集発行 佐賀市城内1丁目15-23  
佐賀県立博物館

印刷 日之出印刷株式会社